

島根原子力発電所周辺 環境放射線等調査結果

平成25年度 第3・四半期

島 根 県

ま え が き

「平成 2 5 年度島根原子力発電所周辺環境放射線等測定計画」に基づき、発電所周辺地域の環境放射線等の調査を行った。

この報告書は、平成 2 5 年 1 0 月から 1 2 月の測定結果について、「島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会」において検討、確認されたものを取りまとめたものである。

目 次

I 環境放射線関係

1. 調査機関	1
2. 調査項目及び測定法	1
3. 調査結果の概要	2
4. 調査項目別測定結果	7
(1) 空間放射線	7
1) 積算線量	7
2) 線量率	8
(2) 地表面における人工放射能	14
(3) 環境試料中の放射能	15
1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種	15
2) トリチウム	22
3) ストロンチウム90	23

II 温排水関係

1. 調査機関	27
2. 調査項目及び測定法	27
3. 今期の島根原子力発電所の運転状況	27
(別図) 温排水測定定点図	28
4. 調査結果の概要	29
(1) 沖合定線	29
(2) 格子状定線	31
(3) 沿岸定点	32
(4) 水色	33
〔添付資料〕	
資料1-1 島根原子力発電所 沖合定線の水温	34
資料1-2 島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図	35
資料1-3 島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図	36
資料1-4 島根原子力発電所 基準水温より水温が高かった点の過去の出現範囲	37
資料2-1 島根原子力発電所 格子状定線の水温	38
資料2-2 島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図	42
資料2-3 島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図	44
資料3-1 島根原子力発電所 沿岸定点の水温	46
資料3-2 島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移	49
資料3-3 島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果	50

III. 参 考 資 料

1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果	51
2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況	52
3. 島根原子力発電所の運転状況	54
用語の解説	55

I 環境放射線關係

調査内容

平成25年10月～12月の調査内容は次のとおりである。

1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社

2. 調査項目及び測定法

調査項目		測定機関	測定法		測定機器		
空間放射線	積算線量	島根県 中国電力	文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」による。		蛍光ガラス線量計 (RPLD)		
	線量率 (モニタリングポスト)	島根県	エネルギー補償方式		NaI(Tl)シンチレーション検出器 (深田北、北講武及び片句はゲルマニウム半導体検出器によるγ線エネルギー弁別装置付き)		
人工放射能面密度		島根県	ゲルマニウム半導体検出器によるin-situ測定		高分解能γ線スペクトロメータ (高純度ゲルマニウム検出器)		
環境試料中の放射能	ガンマ線放出核種の	浮遊塵	計測試料	分析法	高分解能γ線スペクトロメータ (高純度ゲルマニウム検出器)		
			捕集フィルター	文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメータ」による。			
		海水	吸着物			文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメータ」による。	
			陸水				濃縮物
		牛乳					生試料
			植物農産物 海産生物				灰化物 (ヨウ素131以外の核種)
生体 (ヨウ素131)							
トリチウム	海水 陸水	島根県 中国電力	文部科学省編「トリチウム分析法」による。		低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置		

3. 調査結果の概要

今期の調査結果について、各々の測定項目ごとに詳細な検討を行ったが、島根原子力発電所による影響は認められなかった。

(1) 空間放射線

1) 積算線量

すべての測定地点で、平常の変動幅内であった。

2) 線量率 (モニタリングポストによる測定)

10月に西浜佐陀局、上講武局、11月に西浜佐陀局、末次局、大芦局、12月に西浜佐陀局、御津局、古浦局、片匂局、北講武局、佐陀本郷局、末次局、大芦局、上講武局、手結局において平常の変動幅を超える線量率が測定された。いずれも降水による線量率の増加であった。

なお、深田北局においては、局舎更新のため10月28日から欠測している。

また、平成25年度から手結南、池平、名分、魚瀬、上大野、東長江、比津、持田、大芦別所、加賀、出雲、安来、雲南で新たに測定を開始した。そのため、これらの地点については、平常の変動幅は未設定である。

(2) 地表面における人工放射能

1) 人工放射能面密度

一部の地点でセシウム137が検出されたが、一般の環境で認められる程度の値であり、過去の大気圏内核実験等によるものと考えられる。

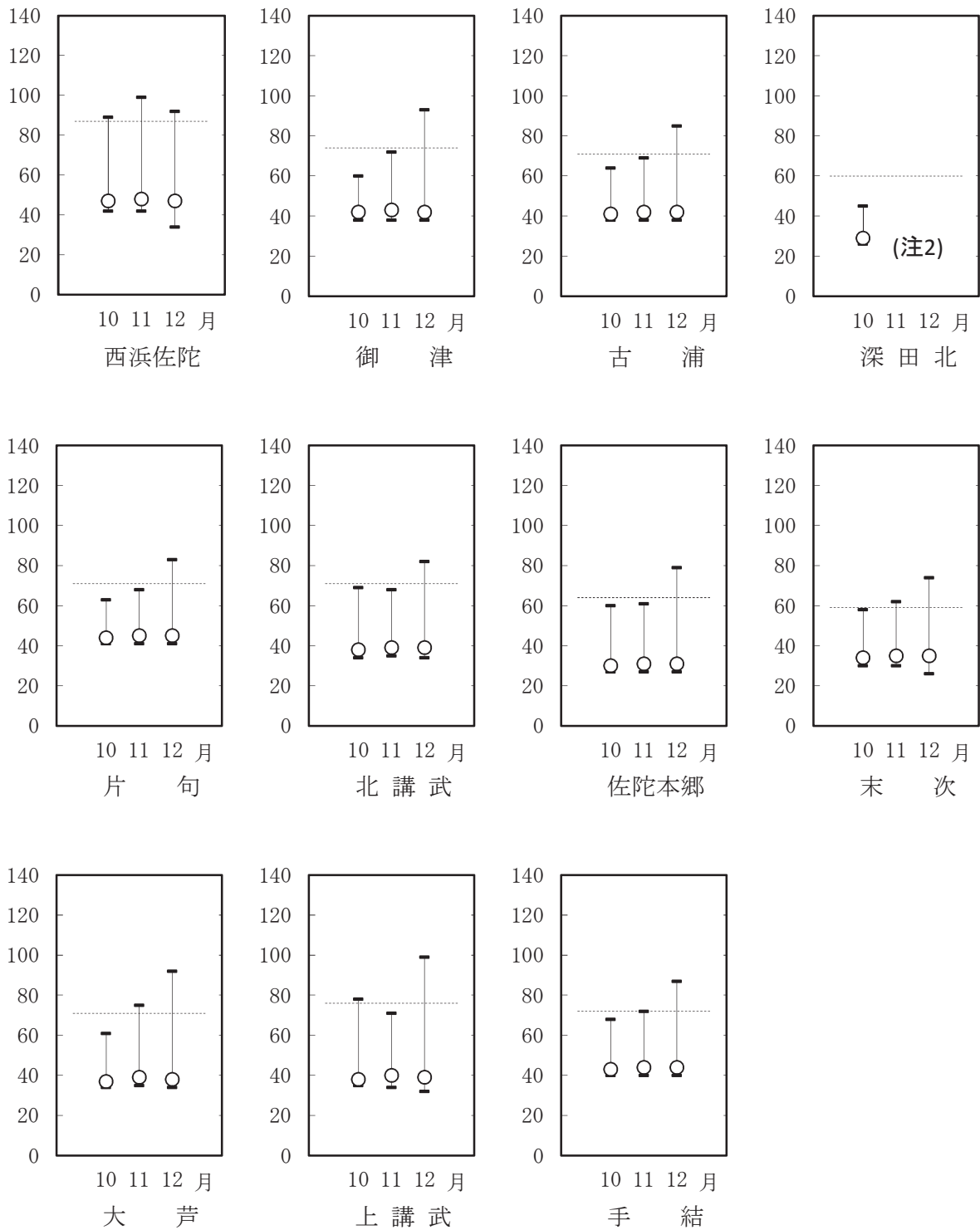
(3) 環境試料中の放射能

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

海水、海産生物からセシウム137が検出されたが、平常の変動幅内または一般の環境で認められる程度の値であり、過去の大気圏内核実験等によるものと考えられる。

2) トリチウム

今期はトリチウムは検出されなかった。

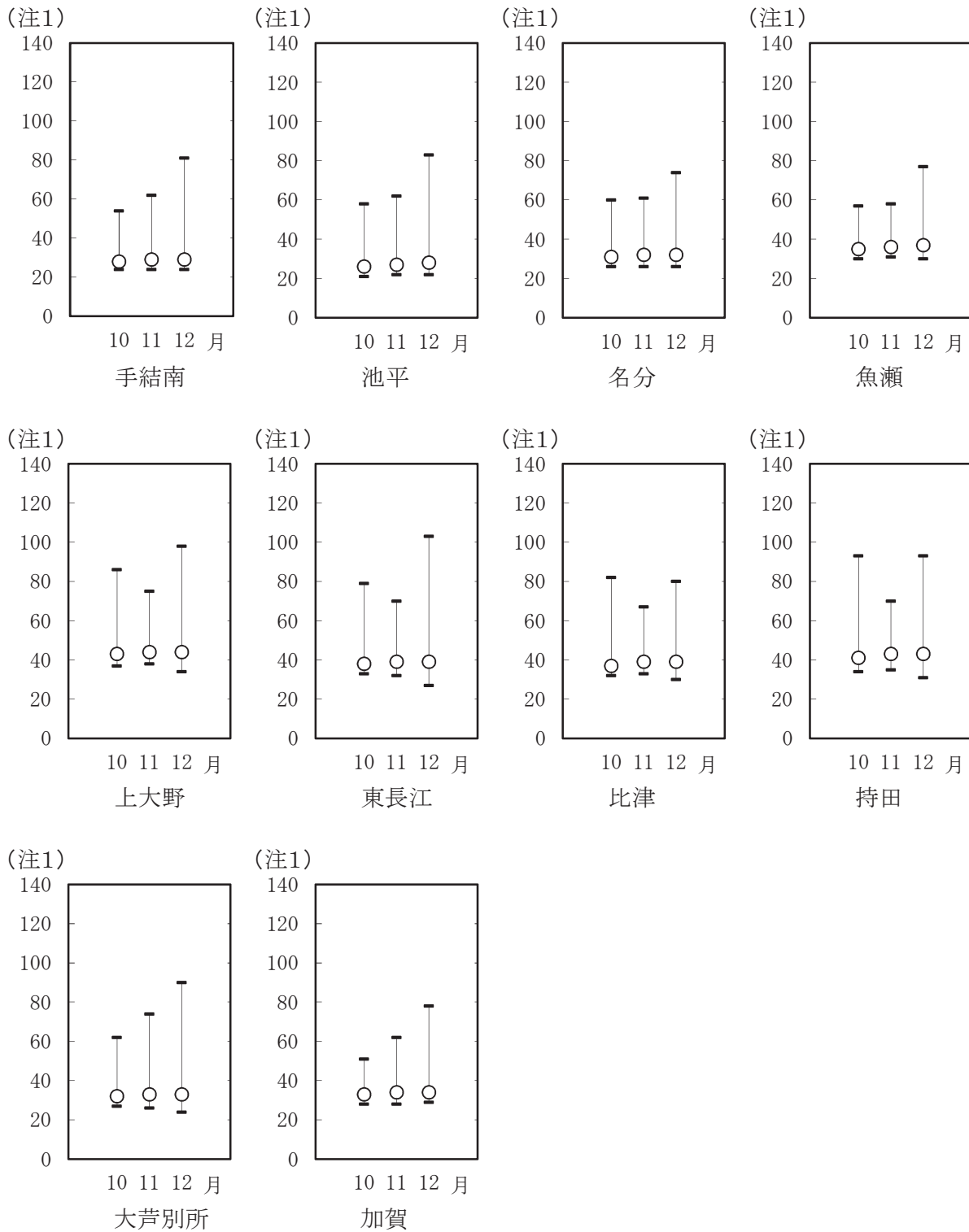


モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

┆ 最高値
 ○ 平均値
 ┆ 最低値
 ----- 平常の変動幅(上限)

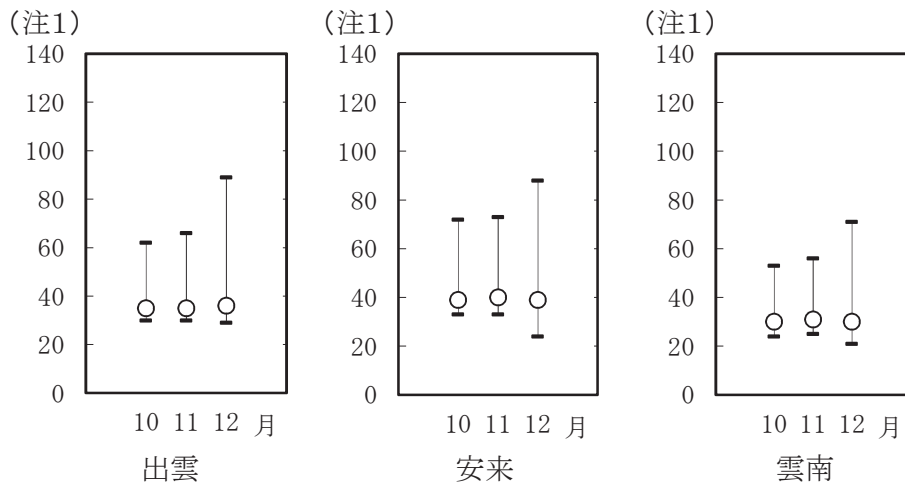
(注) 1. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

2. 局舎改修のため10月28日より欠測



モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

(注) 1. 平成25年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定である。



モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

最高値
 ○ 平均値
 最低値

(注) 1. 平成25年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定である。

環 境 試 料 中 の 放 射 能

ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

試料名		測定 試料数	測定結果					前年同期の ¹³⁷ Cs	単 位	
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I			¹³⁷ Cs
浮遊塵		9	ND	ND	ND	ND		ND	μBq/m ³	
陸水	水道原水	4	ND	ND	ND	ND		ND	mBq/ℓ	
植物	松葉	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg (生)	
農産物	大根	2	ND	ND	ND	ND		ND		
	ほうれん草	3	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
	精米	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
牛乳	原乳	2					ND	ND (¹³¹ I)	mBq/ℓ	
海水		8	ND	ND	ND	ND		0.9~ 2.4		1.1~1.8
海産物	さざえ	肉	2	ND	ND	ND	ND		ND~ 0.04	Bq/kg (生)
		内臓	2	ND	ND	ND	ND		ND	
	あらめ	2	ND	ND	ND	ND		0.06 ~ 0.08	0.08	

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

トリチウム

試料名		測定試料数	測定値	前年同期の測定値	単 位
海水		5	ND	ND	Bq/ℓ
陸水	水道原水	2	ND	0.28~0.38	

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

4. 調査項目別測定結果

(1) 空間放射線

1) 積算線量

単 位：【 mGy/90日 】

測定地点	測定値				平常の変動幅	年間線量 (mGy/365日)	測定者	備考
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
一 矢	0.15	0.15	0.15		0.14~0.17		中国電力	
佐 陀 本 郷	0.13	0.13	0.13		0.12~0.15		〃	
深 田	0.12	0.12	0.12		0.11~0.14		〃	
片 匂	0.16	0.16	0.16		0.15~0.18		島根県	
	0.16	0.16	0.16				中国電力	
御 津	0.15	0.15	0.15		0.14~0.17		島根県	
	0.15	0.15	0.15				中国電力	
旦 過	0.13	0.13	0.13		0.12~0.15		〃	
古 浦	0.14	0.14	0.14		0.13~0.16		島根県	
	0.14	0.14	0.14				中国電力	
恵 曇	0.12	0.12	0.12		0.12~0.14		〃	
手 結	0.11	0.11	0.11		0.10~0.12		〃	
上 講 武	0.15	0.15	0.15		0.15~0.17		島根県	
南 講 武	0.12	0.12	0.12		0.12~0.14		〃	
	0.12	0.12	0.12				中国電力	
佐 陀 宮 内	0.15	0.15	0.15		0.14~0.16		島根県	
大 芦	0.14	0.14	0.14		0.14~0.15		〃	
加 賀	0.13	0.13	0.12		0.11~0.14		〃	
西 生 馬	0.15	0.16	0.15		0.15~0.17		〃	
西 川 津	0.13	0.14	0.14		0.13~0.15		〃	

- (注) 1. 測定方法 蛍光ガラス線量計 (RPLD) で測定した。
 2. 積算線量の「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。

2) 線量率 (モニタリングポストによる測定)

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		4月	5月	6月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	48	49	87	
	最 高 値	89	70	86		
	最 低 値	41	43	42		
御 津	平 均 値	41	41	42	74	
	最 高 値	74	61	83		
	最 低 値	38	38	38		
古 浦	平 均 値	41	40	41	71	
	最 高 値	70	66	76		
	最 低 値	38	38	38		
深 田 北	平 均 値	29	28	29	60	
	最 高 値	59	58	73		
	最 低 値	26	26	26		
片 匂	平 均 値	44	43	44	71	
	最 高 値	69	67	77		
	最 低 値	41	41	41		
北 講 武	平 均 値	38	37	38	71	
	最 高 値	72	62	69		
	最 低 値	35	34	34		
佐 陀 本 郷	平 均 値	30	30	31	64	
	最 高 値	65	57	66		
	最 低 値	27	27	27		
末 次	平 均 値	34	34	34	59	
	最 高 値	62	47	60		
	最 低 値	30	30	30		
大 芦	平 均 値	38	37	38	71	
	最 高 値	67	64	77		
	最 低 値	34	34	35		
上 講 武	平 均 値	38	37	38	76	
	最 高 値	78	65	78		
	最 低 値	34	34	34		
手 結	平 均 値	43	43	44	72	
	最 高 値	71	69	79		
	最 低 値	40	40	40		

- (注)
1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3”φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。

2) 線量率 (モニタリングポストによる測定)

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限) (注5)	備 考
		4 月	5 月	6 月		
手 結 南	平 均 値	29	29	30		
	最 高 値	64	62	76		
	最 低 値	25	25	25		
池 平	平 均 値	27	26	27		
	最 高 値	62	56	67		
	最 低 値	22	22	22		
名 分	平 均 値	31	30	31		
	最 高 値	63	53	63		
	最 低 値	26	26	26		
魚 瀬	平 均 値	36	35	36		
	最 高 値	65	62	73		
	最 低 値	32	30	31		
上 大 野	平 均 値	44	43	44		
	最 高 値	85	70	81		
	最 低 値	38	38	38		
東 長 江	平 均 値	39	38	40		
	最 高 値	86	66	80		
	最 低 値	34	33	34		
比 津	平 均 値	37	37	38		
	最 高 値	72	57	71		
	最 低 値	32	32	32		
持 田	平 均 値	42	41	42		
	最 高 値	77	63	75		
	最 低 値	36	36	35		
大 芦 別 所	平 均 値	33	32	33		
	最 高 値	68	63	81		
	最 低 値	28	28	27		
加 賀	平 均 値	33	32	33		
	最 高 値	55	56	66		
	最 低 値	28	28	28		
出 雲	平 均 値	32	32	34		
	最 高 値	56	59	71		
	最 低 値	28	28	29		
安 来	平 均 値	37	36	35		
	最 高 値	58	52	68		
	最 低 値	32	30	29		
雲 南	平 均 値	27	27	29		
	最 高 値	43	46	61		
	最 低 値	23	23	24		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV～3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定である。

2) 線量率 (モニタリングポストによる測定)

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		7月	8月	9月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	49	48	87	
	最 高 値	90	70	73		
	最 低 値	42	43	42		
御 津	平 均 値	41	42	42	74	
	最 高 値	72	71	66		
	最 低 値	38	38	39		
古 浦	平 均 値	41	41	41	71	
	最 高 値	74	67	71		
	最 低 値	37	37	37		
深 田 北	平 均 値	29	29	29	60	
	最 高 値	64	58	60		
	最 低 値	26	26	26		
片 旬	平 均 値	43	44	44	71	
	最 高 値	69	68	71		
	最 低 値	40	41	41		
北 講 武	平 均 値	37	38	38	71	
	最 高 値	64	62	60		
	最 低 値	34	35	34		
佐 陀 本 郷	平 均 値	30	30	31	64	
	最 高 値	64	55	60		
	最 低 値	27	27	27		
末 次	平 均 値	34	34	34	59	
	最 高 値	69	52	52		
	最 低 値	30	30	30		
大 芦	平 均 値	37	38	38	71	
	最 高 値	72	71	68		
	最 低 値	34	34	34		
上 講 武	平 均 値	37	38	38	76	
	最 高 値	72	74	63		
	最 低 値	34	34	34		
手 結	平 均 値	43	43	43	72	
	最 高 値	75	69	73		
	最 低 値	40	40	40		

- (注)
1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3”φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。

2) 線量率 (モニタリングポストによる測定)

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限) (注5)	備 考
		7月	8月	9月		
手 結 南	平 均 値	29	29	29		
	最 高 値	72	61	66		
	最 低 値	24	24	23		
池 平	平 均 値	25	25	26		
	最 高 値	67	56	61		
	最 低 値	20	21	21		
名 分	平 均 値	30	31	31		
	最 高 値	60	54	54		
	最 低 値	25	26	26		
魚 瀬	平 均 値	35	35	36		
	最 高 値	65	61	69		
	最 低 値	30	30	30		
上 大 野	平 均 値	43	44	43		
	最 高 値	81	75	70		
	最 低 値	37	38	37		
東 長 江	平 均 値	38	39	39		
	最 高 値	80	61	67		
	最 低 値	33	33	32		
比 津	平 均 値	37	38	38		
	最 高 値	69	57	61		
	最 低 値	32	33	32		
持 田	平 均 値	41	42	42		
	最 高 値	74	60	65		
	最 低 値	34	36	34		
大 芦 別 所	平 均 値	32	32	32		
	最 高 値	72	83	60		
	最 低 値	27	28	27		
加 賀	平 均 値	32	33	33		
	最 高 値	62	59	64		
	最 低 値	28	28	28		
出 雲	平 均 値	33	34	35		
	最 高 値	72	64	66		
	最 低 値	28	29	29		
安 来	平 均 値	37	37	39		
	最 高 値	68	70	74		
	最 低 値	28	30	31		
雲 南	平 均 値	28	30	30		
	最 高 値	50	57	56		
	最 低 値	24	25	24		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV～3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定である。

2) 線量率 (モニタリングポストによる測定)

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		10月	11月	12月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	48	47	87	
	最 高 値	89	99	92		
	最 低 値	42	42	34		
御 津	平 均 値	42	43	42	74	
	最 高 値	60	72	93		
	最 低 値	38	38	38		
古 浦	平 均 値	41	42	42	71	
	最 高 値	64	69	85		
	最 低 値	38	38	38		
深 田 北	平 均 値	29	欠測(注5)	欠測(注5)	60	
	最 高 値	45				
	最 低 値	26				
片 旬	平 均 値	44	45	45	71	
	最 高 値	63	68	83		
	最 低 値	41	41	41		
北 講 武	平 均 値	38	39	39	71	
	最 高 値	69	68	82		
	最 低 値	34	35	34		
佐 陀 本 郷	平 均 値	30	31	31	64	
	最 高 値	60	61	79		
	最 低 値	27	27	27		
末 次	平 均 値	34	35	35	59	
	最 高 値	58	62	74		
	最 低 値	30	30	26		
大 芦	平 均 値	37	39	38	71	
	最 高 値	61	75	92		
	最 低 値	34	35	34		
上 講 武	平 均 値	38	40	39	76	
	最 高 値	78	71	99		
	最 低 値	35	34	32		
手 結	平 均 値	43	44	44	72	
	最 高 値	68	72	87		
	最 低 値	40	40	40		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3" φ球形 NaI (Tl)シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV～3 MeV のエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間 (移設等があった場合は2年間以上) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。
 5. 深田北は10月28日から局舎更新のため欠測

2) 線量率 (モニタリングポストによる測定)

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限) (注5)	備 考
		10月	11月	12月		
手 結 南	平 均 値	28	29	29		
	最 高 値	54	62	81		
	最 低 値	24	24	24		
池 平	平 均 値	26	27	28		
	最 高 値	58	62	83		
	最 低 値	21	22	22		
名 分	平 均 値	31	32	32		
	最 高 値	60	61	74		
	最 低 値	26	26	26		
魚 瀬	平 均 値	35	36	37		
	最 高 値	57	58	77		
	最 低 値	30	31	30		
上 大 野	平 均 値	43	44	44		
	最 高 値	86	75	98		
	最 低 値	37	38	34		
東 長 江	平 均 値	38	39	39		
	最 高 値	79	70	103		
	最 低 値	33	32	27		
比 津	平 均 値	37	39	39		
	最 高 値	82	67	80		
	最 低 値	32	33	30		
持 田	平 均 値	41	43	43		
	最 高 値	93	70	93		
	最 低 値	34	35	31		
大 芦 別 所	平 均 値	32	33	33		
	最 高 値	62	74	90		
	最 低 値	27	26	24		
加 賀	平 均 値	33	34	34		
	最 高 値	51	62	78		
	最 低 値	28	28	29		
出 雲	平 均 値	35	35	36		
	最 高 値	62	66	89		
	最 低 値	30	30	29		
安 来	平 均 値	39	40	39		
	最 高 値	72	73	88		
	最 低 値	33	33	24		
雲 南	平 均 値	30	31	30		
	最 高 値	53	56	71		
	最 低 値	24	25	21		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV～3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定である。

(2) 地表面における人工放射能

1) 人工放射能面密度

単 位 : 【 kBq/m² 】

測定地点	測定月日	対 象 核 種							参 考 核 種 (注5)	¹³⁷ Cs 平 常 の 変 動 幅	備 考
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs			
片 旬	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月15日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
手 結	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
古 浦	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND~0.02	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND			
佐 陀 本 郷	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.01~0.04	
	11月15日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
西 生 馬	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月23日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
西 川 津	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.03~0.06	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND			
加 賀	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
大 芦	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND~0.02	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
御 津	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
上 講 武	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
北 講 武	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.01~0.05	
	11月15日	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND			
佐 陀 宮 内	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.01~0.05	
	11月14日	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND			
西 浜 佐 陀	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.02~0.05	
	11月15日	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND			

- (注) 1. 測定者 島 根 県
 2. 測定方法 ゲルマニウム半導体検出器による in-situ 測定 (地上高 1m)
 3. 対象核種は地表面分布していると仮定した。
 4. ¹³⁷Cs 「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。
 5. ¹³⁴Cs は対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

(3) 環境試料中の放射能

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

浮遊塵

単位：【 $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 】

採取地点	採取期間	対象核種					天然核種		参考核種	測定者	^{137}Cs 平常の変動幅
		^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{137}Cs	^7Be	^{40}K	^{134}Cs		
御津	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5500	ND	ND	島根県	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	4100	ND	ND	〃	
	5月31日～7月1日	ND	ND	ND	ND	ND	3800	ND	ND	〃	
	7月1日～8月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2100	ND	ND	〃	
	8月2日～9月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2100	ND	ND	〃	
	9月2日～9月30日	ND	ND	ND	ND	ND	4400	ND	ND	〃	
	9月30日～10月31日	ND	ND	ND	ND	ND	4800	ND	ND	〃	
	10月31日～12月3日	ND	ND	ND	ND	ND	4700	ND	ND	〃	
	12月3日～1月6日	ND	ND	ND	ND	ND	4300	ND	ND	〃	
	月日～月日									〃	
	月日～月日									〃	
月日～月日									〃		
古浦	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5000	ND	ND	〃	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	4100	ND	ND	〃	
	5月31日～7月1日	ND	ND	ND	ND	ND	3700	ND	ND	〃	
	7月1日～8月2日	ND	ND	ND	ND	ND	1800	ND	ND	〃	
	8月2日～9月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2000	ND	ND	〃	
	9月2日～9月30日	ND	ND	ND	ND	ND	4100	ND	ND	〃	
	9月30日～10月31日	ND	ND	ND	ND	ND	4500	ND	ND	〃	
	10月31日～12月3日	ND	ND	ND	ND	ND	4600	ND	ND	〃	
	12月3日～1月6日	ND	ND	ND	ND	ND	4100	ND	ND	〃	
	月日～月日									〃	
	月日～月日									〃	
月日～月日									〃		
西浜佐陀	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5400	ND	ND	〃	(ND) (注3)
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	4400	ND	ND	〃	
	5月31日～7月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4200	ND	ND	〃	
	7月1日～8月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2300	ND	ND	〃	
	8月2日～9月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2300	ND	ND	〃	
	9月2日～9月30日	ND	ND	ND	ND	ND	5200	ND	ND	〃	
	9月30日～10月31日	ND	ND	ND	ND	ND	5000	ND	ND	〃	
	10月31日～12月3日	ND	ND	ND	ND	ND	4800	ND	ND	〃	
	12月3日～1月6日	ND	ND	ND	ND	ND	4400	ND	ND	〃	
	月日～月日									〃	
	月日～月日									〃	
月日～月日									〃		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ^{137}Cs 「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. 西浜佐陀地点については、平成20年度より測定を開始したので、平成20～22年度の値を参考値として記載した。
 4. ^{134}Cs は対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

陸 水

単 位 : 【 mBq/l 】

	部 位	採 地	取 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		参 考 核 種	測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
					⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁴ Cs		
池 水	表 層 水	一 矢	5 月 14 日	ND	ND	ND	ND	ND	9.9	45	ND	島 根 県	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	15	81	ND	中国電力		
		上 講 武	5 月 14 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	72	ND	〃	ND	
水 道 原 水	着 水	古 浄 水 場	5 月 14 日	ND	ND	ND	ND	ND	8.2	39	ND	島 根 県	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	64	ND	中国電力		
			11 月 20 日	ND	ND	ND	ND	ND	11	28	ND	島 根 県		
				ND	ND	ND	ND	ND	18	34	ND	中国電力		
	井	忌 部 浄 水 場	5 月 14 日	ND	ND	ND	ND	ND	12	52	ND	島 根 県	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	80	ND	中国電力		
			11 月 20 日	ND	ND	ND	ND	ND	71	51	ND	島 根 県		
				ND	ND	ND	ND	ND	56	58	ND	中国電力		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. ¹³⁴Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

植 物

単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試 料 名	部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種						天 然 核 種		参 考 核 種	測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁴ Cs			
松 葉	2 年 葉	御 津	4 月 17 日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	19	65	ND	島 根 県	ND~0.12	
				11 月 8 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	27	71	ND	〃	ND~0.04
					ND	ND	ND	ND	ND	ND	37	71	ND	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. ¹³⁴Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

農 産 物

単 位:【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取月日	対 象 核 種						天 然 核 種		参 考 核 種 ¹³⁴ Cs	測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K				
大根	根	御津	12月12日	ND	ND	ND	ND		ND	0.43	67	ND	島根県	ND
		根連木	4月5日	ND	ND	ND	ND		ND	0.49	55	ND	中国電力	ND~0.06
			12月18日	ND	ND	ND	ND		ND	0.51	78	ND	島根県	
ほうれん草	葉	御津	12月12日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	180	ND	〃	ND
		根連木	12月18日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	30	210	ND	〃	ND~0.03
				ND	ND	ND	ND		ND	20	200	ND	中国電力	
キャベツ	葉	御津	4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	61	ND	島根県	ND
		根連木	5月22日	ND	ND	ND	ND		ND	0.75	63	ND	〃	ND~0.06
精米		尾坂	9月19日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	22	ND	〃	ND
				ND	ND	ND	ND		ND	ND	23	ND	中国電力	
茶	葉	北講武	5月20日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	11	130	ND	島根県	ND~0.10
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	140	ND	中国電力	

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。3. ¹³⁴Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

牛 乳

単 位 : 【 mBq/ℓ 】

試 料 名	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種		測 定 者
			¹³¹ I		
原 乳	南 講 武	4 月 9 日	ND		島 根 県
			ND		中 国 電 力
		7 月 19 日	ND		島 根 県
		10 月 31 日	ND		〃
			ND		中 国 電 力
月 日			島 根 県		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
2. ¹³¹Iのみが測定対象である。

陸 土 (濃 度)

単 位 : 【 Bq/kg (風乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		参 考 核 種	測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁴ Cs		
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	1.7	10	280	ND	島 根 県	ND~2.4
	片 句	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	0.83	12	640	ND	〃	(ND~0.58) (注3)
	佐 陀 宮 内	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	6.3	14	520	ND	〃	1.9~32
			ND	ND	ND	ND	3.1	ND	420	ND	中国電力	
	西 浜 佐 陀	7 月 30 日	ND	ND	ND	ND	3.0	10	780	ND	島 根 県	(1.0~2.5) (注4)

陸 土 (面 密 度)

単 位 : 【 kBq/m² 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種	参 考 核 種	測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	¹³⁴ Cs		
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	0.06	0.36	ND	島 根 県	ND~0.18
	片 句	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	0.04	0.55	ND	〃	(ND~0.02) (注3)
	佐 陀 宮 内	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	0.25	0.57	ND	〃	0.07~2.2
			ND	ND	ND	ND	0.16	ND	ND	中国電力	
	西 浜 佐 陀	7 月 30 日	ND	ND	ND	ND	0.12	0.40	ND	島 根 県	(0.08~0.11) (注4)

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
3. 片句の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成20年度より採取ポイントを移動したため、平成20~22年度の値を参考値として記載した。
4. 西浜佐陀地点は平成20年度より測定を開始したので、平成20~22年度の値を参考値として記載した。
5. 面密度の表は、濃度の表の値を換算したものである。
6. ¹³⁴Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

海 水

単 位 : 【 mBq/l 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					参 考 核 種	測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs		
表層水	1号機放水口	4月23日	ND	ND	ND	ND	1.8	ND	島根県	0.8~3.6
			ND	ND	ND	ND	1.2	ND	中国電力	
		10月22日	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	島根県	
			ND	ND	ND	ND	1.5	ND	中国電力	
	2号機放水口付近	4月16日	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	島根県	(ND~2.5) (注3)
		10月29日	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	中国電力	
	3号機放水口付近	4月16日	ND	ND	ND	ND	1.5	ND	島根県	(1.1~1.8) (注4)
		10月29日	ND	ND	ND	ND	2.4	ND	中国電力	
	取 水 口	4月23日	ND	ND	ND	ND	1.7	ND	〃	1.3~2.9
		10月22日	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	〃	
	1号機放水口沖	4月16日	ND	ND	ND	ND	1.6	ND	島根県	1.4~2.6
		10月19日	ND	ND	ND	ND	1.7	ND	〃	
	2・3号機放水口沖	4月16日	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	〃	1.3~3.0
		10月19日	ND	ND	ND	ND	1.8	ND	〃	
手 結 沖	4月16日	ND	ND	ND	ND	1.8	ND	〃	ND~3.2	
	10月15日	ND	ND	ND	ND	1.5	ND	中国電力		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. 2号機放水口付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成14年度から測定を開始したため、平成14~22年度の値を参考値として記載した。
 4. 3号機放水口付近については、平成21年度より測定を開始したので、平成21~22年度の値を参考値として記載した。
 5. 天然核種 (⁷Be、⁴⁰K) は、試料調製過程で除去され測定出来ない。
 6. ¹³⁴Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

海 底 土

単 位 : 【 Bq/kg (風乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		参 考 核 種	測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁴ Cs		
表層底質	1号機放水口沖	4月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	ND	島根県	ND
	2・3号機放水口沖	4月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	ND	〃	ND
	手 結 沖	4月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	290	ND	〃	ND

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. ¹³⁴Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

海産生物(1)

単位:【Bq/kg(生)】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種					天然核種		参考核種	測定者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁴ Cs		
かさこ	肉	発電所付近 沿	6月14日	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	150	ND	島根県	0.06~0.15
なまこ	肉	1号機放水口湾付近	月日									〃	ND(注3)
		宮崎鼻付近	月日									〃	(ND)(注4)
さびえ	肉	1号機放水口湾 付 近	4月18日	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	84	ND	〃	ND (注5)
			7月21日	ND	ND	ND	ND	0.04	2.1	64	ND	〃	
			10月5日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	68	ND	〃	
			月日									〃	
		宮崎鼻 付 近	4月18日	ND	ND	ND	ND	ND	0.59	74	ND	〃	(ND~0.04) (注6)
			7月16日	ND	ND	ND	ND	ND	0.74	72	ND	〃	
	11月15日		ND	ND	ND	ND	0.04	0.75	80	ND	〃		
	月日										〃		
	内臓	1号機放水口湾 付 近	4月18日	ND	ND	ND	ND	ND	3.9	70	ND	〃	ND~0.06 (注5)
			7月21日	ND	ND	ND	ND	ND	8.5	45	ND	〃	
			10月5日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	ND	〃	
			月日									〃	
宮崎鼻 付 近		4月18日	ND	ND	ND	ND	ND	1.7	55	ND	〃	(ND~0.04) (注6)	
		7月16日	ND	ND	ND	ND	ND	3.5	46	ND	〃		
	11月15日	ND	ND	ND	ND	ND	2.6	39	ND	〃			
月日										〃			
むらさきがい	1号機放水口湾 付 近	7月23日	ND	ND	ND	ND	ND	3.0	46	ND	〃	ND	
			ND	ND	ND	ND	ND	3.0	48	ND	中国電力		
	宮崎鼻 付 近	7月16日	ND	ND	ND	ND	ND	7.5	52	ND	島根県	(ND) (注6)	
			ND	ND	ND	ND	ND	7.8	54	ND	中国電力		
	浜田市	7月7日	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	37	ND	島根県	ND	
	松江美保関町	7月10日	ND	ND	ND	ND	ND	4.5	47	ND	〃	ND	
ND			ND	ND	ND	ND	4.7	47	ND	中国電力			

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. 1号機放水口湾付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成12~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18~22年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成12~22年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなして決定した。
 4. 宮崎鼻付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成18年度から1号機放水口湾付近採取試料との混合試料として測定を開始したため、平成18~22年度の混合試料の測定結果を参考値として記載した。
 5. 1号機放水口湾付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成12~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成12~18年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなして決定した。
 6. 宮崎鼻付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14年度から測定を開始したため、平成14~22年度の値を参考値として記載した。
 7. ¹³⁴Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。

海産生物(2)

単位:【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種						天然核種		参考核種 134Cs	測定者	137Cs 平常の変動幅	
				54Mn	59Fe	58Co	60Co	131I	137Cs	7Be	40K				
あらめ	仮根を除く	1号機放水口付湾近	6月27日	ND	ND	ND	ND	/	ND	7.8	260	ND	島根県	ND~0.12	
			10月5日	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	2.8	230	ND			〃
		宮崎鼻付	6月22日	ND	ND	ND	ND	/	0.05	1.8	260	ND	〃	(ND~0.12) (注3)	
			11月21日	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	4.5	300	ND			中国電力
		宮崎鼻付海底部	(注6)	/										島根県	(ND~0.09) (注3)
				/										中国電力	
わかめ	仮根を除く	1号機放水口付湾近	4月18日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.68	220	ND	島根県	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.52	220	ND	中国電力		
岩のり	全体	1号機放水口付湾近	月日					/					島根県	ND	
ほんだわら類	仮根を除く	1号機放水口付湾近	6月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.8	260	ND	〃	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.1	270	ND			中国電力
		宮崎鼻付	6月23日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.7	160	ND	島根県	(ND~0.07) (注3)	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.9	190	ND			中国電力
		輪谷湾	6月23日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.6	160	ND	島根県	ND~0.08	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.2	130	ND			中国電力
		浜田市	7月7日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	370	ND	島根県	(ND) (注4)	
		松江市美保関町	7月10日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.7	290	ND	〃	(ND) (注4)	
ND	ND			ND	ND	/	ND	9.8	300	ND	中国電力				

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. 137Cs「平常の変動幅」は平成22年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. 宮崎鼻付近、及び宮崎鼻付近海底部の137Cs「平常の変動幅」は平成14年度から測定を開始したため、平成14~22年度の値を参考値として記載した。
 4. 浜田市および松江市美保関町のほんだわら類の137Cs「平常の変動幅」は、平成19年度から測定を開始したため、平成19~22年度の値を参考値として記載した。
 5. 134Csは対象核種ではないが、福島第一原子力発電所における事故の影響によって、種々の試料から検出されていることを鑑み記載した。
 6. 第1四半期採取計画であったが、採取できなかったため、第4四半期採取予定である。

2) トリチウム

単位：【 Bq/l】

試料名	部位	採取地点	採取月日	測定値	測定者	平常の変動幅			
海水	表層水	1号機放水口沖	4月16日	ND	島根県	ND~0.41			
				ND	中国電力				
			10月19日	ND	島根県				
				ND	中国電力				
		2・3号機放水口沖	4月16日	ND	島根県		ND~1.2		
				ND	中国電力				
			10月19日	ND	島根県				
				ND	中国電力				
		手結沖	4月16日	ND	島根県	ND			
			10月15日	ND	中国電力				
		陸水	池水	一矢	5月14日	0.26		島根県	ND~0.74
						0.33		中国電力	
水道原水	着水井		古志浄水場	5月14日	0.31	島根県	ND~0.65		
					0.37	中国電力			
				11月20日	ND	島根県			
					ND	中国電力			

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

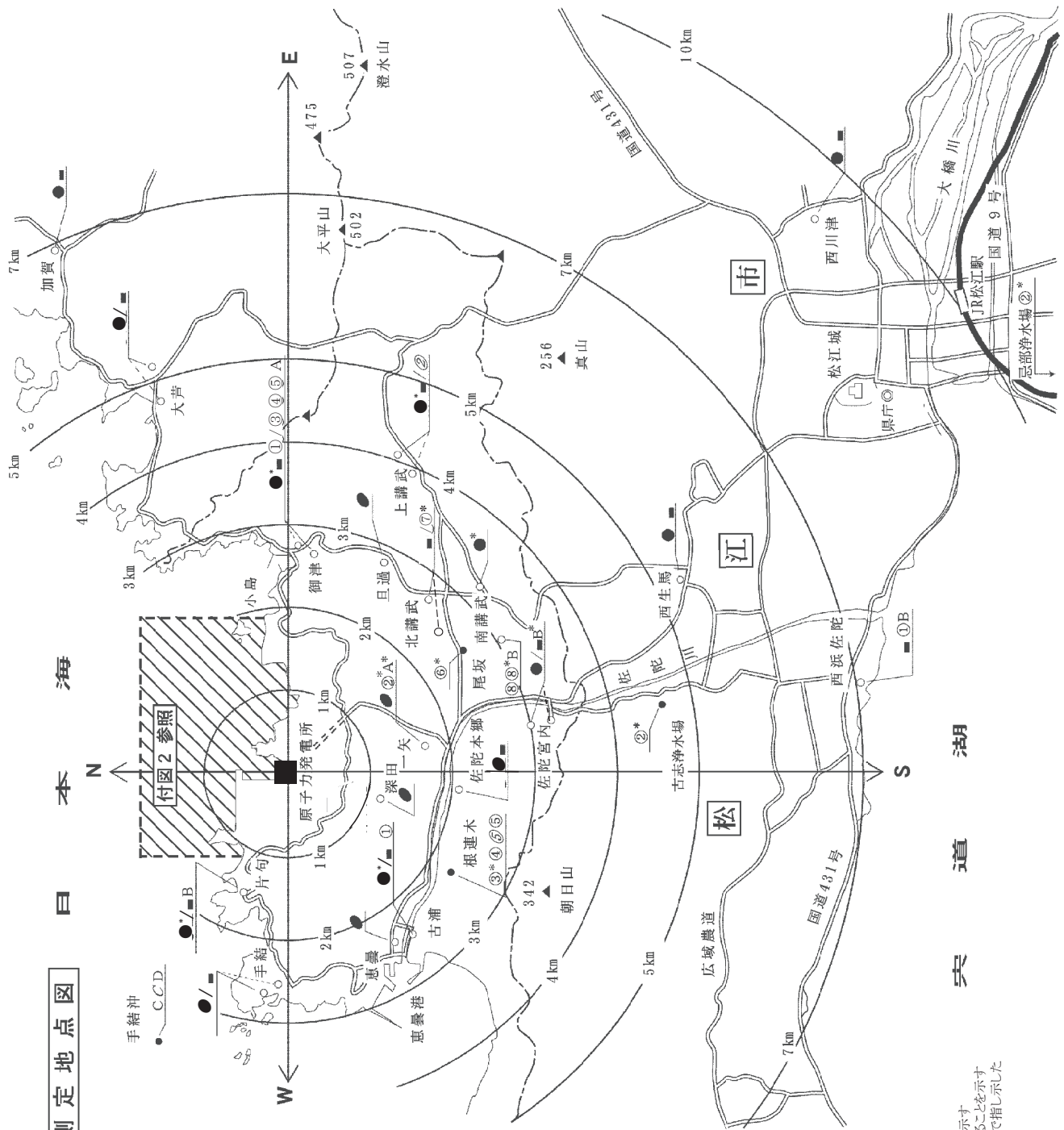
2. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。

3) ストロンチウム 90

試料名	部位	採取地点	採取月日	測定値	単位	平常の変動幅	
松葉	2年葉	御津	4月17日	2.5	Bq/kg(生)	4.3~12	
ほうれん草	葉	御津	12月12日	(注6)		0.07~0.19	
茶	葉	北講武	5月20日	0.32		0.19~1.5	
海水	表層水	1号機放水口沖	4月16日	1.8	mBq/l	ND~2.4	
海産生物	さざえ	肉	1号機放水口湾付近	4月18日	ND	Bq/kg(生)	ND (注4)
			宮崎鼻付近	4月18日	ND		ND
	あらめ	仮根を除く	宮崎鼻付近	6月22日	ND		(ND) (注5)
	わかめ	〃	1号機放水口湾付近	4月18日	ND		ND~0.09
陸土	表層土	佐陀宮内	5月9日	2.4	Bq/kg(風乾物)	1.9~4.7	
				0.06	kBq/m ²	0.08~0.22	

- (注) 1. 測定者島根県
 2. NDは検出下限値未満を示す。
 3. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 4. 1号機放水口湾付近の「平常の変動幅」は、平成12~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成12~18年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなして決定した。
 5. 宮崎鼻付近のあらめについては、平成22年度から測定を開始したため、平成22~24年度の値を参考値として記載した。
 6. 分析・評価に時間を要するので、測定結果は次期に報告する。

付図1 環境放射線測定地点図



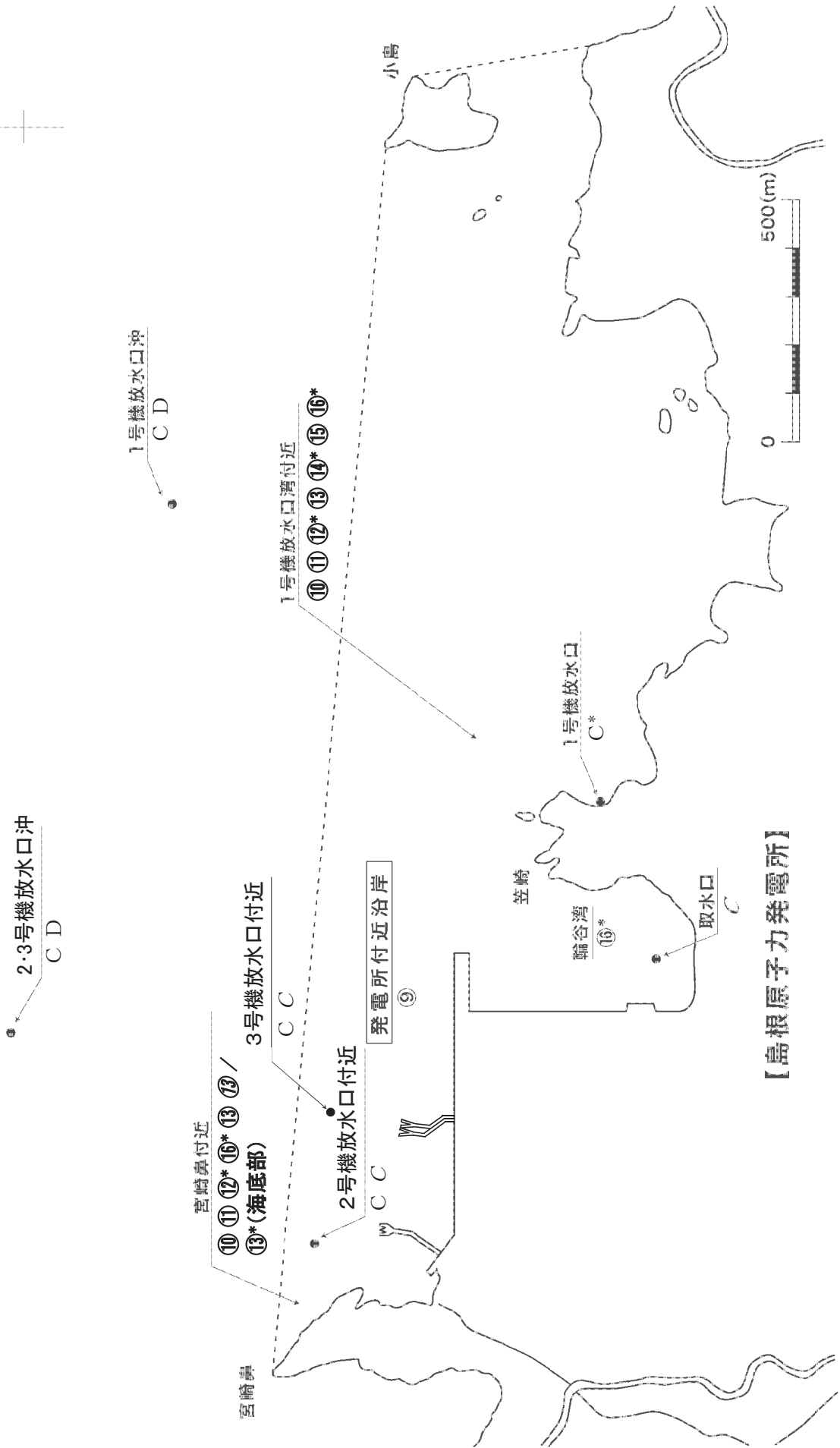
凡 例	
●	積算線量
■	人工放射線面密度
①	浮遊塵
②	池水、水道原水
③	ほうれん草
④	キャベツ
⑤	大 根
⑥	精 米
⑦	茶
⑧	原 乳
⑨	かさご
⑩	なまこ
⑪	さざえ
⑫	むらさきいがい
⑬	あらめ
⑭	わかめ
⑮	いわのり
⑯	ほんだわら類
A	松 葉
B	陸 土
C	海 水
D	海底土

測定担当区分 (例)	
●	① C …… 島 根 県
●*	①* C* …… クロスフェック
●	① C …… 中国電力

(注) 1. 試料は、γ線スペクトロメリー法のみを示す
 2. 『/』は前後の放射線測定地点が異なることを示す
 なお、上記の【前】は実線、【後】は破線で指し示した

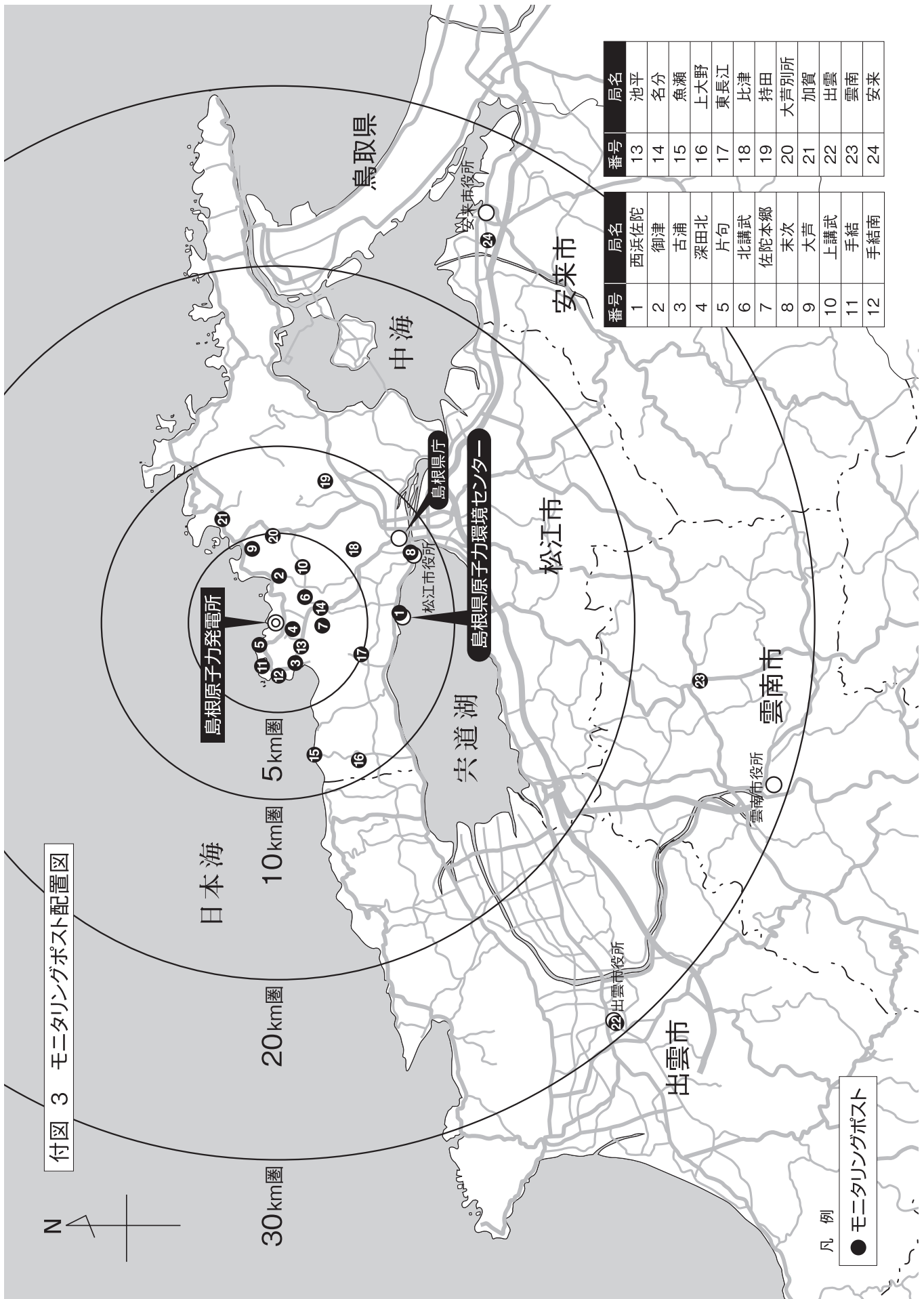
付図 2 環境放射線測定地点(海域拡大図)

(注) 1. 凡例は、付図1と共通
 2. 試料は、A線スケトメトリ―法のみを示す



【島根原子力発電所】

付図 3 モニタリングポスト配置図



番号	局名
1	西浜佐陀
2	御津
3	古浦
4	深田北
5	片匂
6	北講武
7	佐陀本郷
8	末次
9	大芦
10	上講武
11	手結
12	手結南
13	池平
14	名分
15	魚瀬
16	上大野
17	東長江
18	比津
19	持田
20	大芦別所
21	加賀
22	出雲
23	雲南
24	安来

凡例
● モニタリングポスト

II 温排水関係

調査内容

平成25年10月～12月の調査内容は次のとおりである。

1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社
2. 調査項目及び測定法

測定項目	測定点		測定水深	測定方法	測定回数	資料整理	実施者
水温	沖合定線 34点		0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図	島根県
	沿岸 定点	放水口沖 (1号)	0～海底 (水深約20m) 1m間隔	可搬式水温計による測温	毎月 3回	測定日の10時データの表	中国電力
		7点	1号機放水口 2号機放水口 3号機放水口 輪谷湾 片 匂 御 津	1m 1m 4m 1m・3m 1m・3m 1m・3m	常設水温計による自動記録	連続	
		格子状定線 89点		0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図
水色	沖合定線の測定点 7・9・10・17・18			フォーレルの水色計による観測	年 4回	フォーレルの水色標準液 番号の表	島根県

温排水測定地点は別図のとおり。

3. 今期の島根原子力発電所の運転状況

○ 1号機（定格出力：46万kW、放水方式：表層放水）

- ・放水量 10月1日～10月8日 $1 \text{ m}^3 / \text{s}$
- 10月9日～11月25日 $22 \text{ m}^3 / \text{s}$
- 11月26日 $1 \text{ m}^3 / \text{s}$
- 11月27日～12月31日 $22 \text{ m}^3 / \text{s}$

・発電状況 10月1日～12月31日 第29回定期検査のため発電停止

○ 2号機（定格出力：82万kW、放水方式：水中放水）

- ・放水量 10月1日～12月31日 $2.4 \text{ m}^3 / \text{s}$

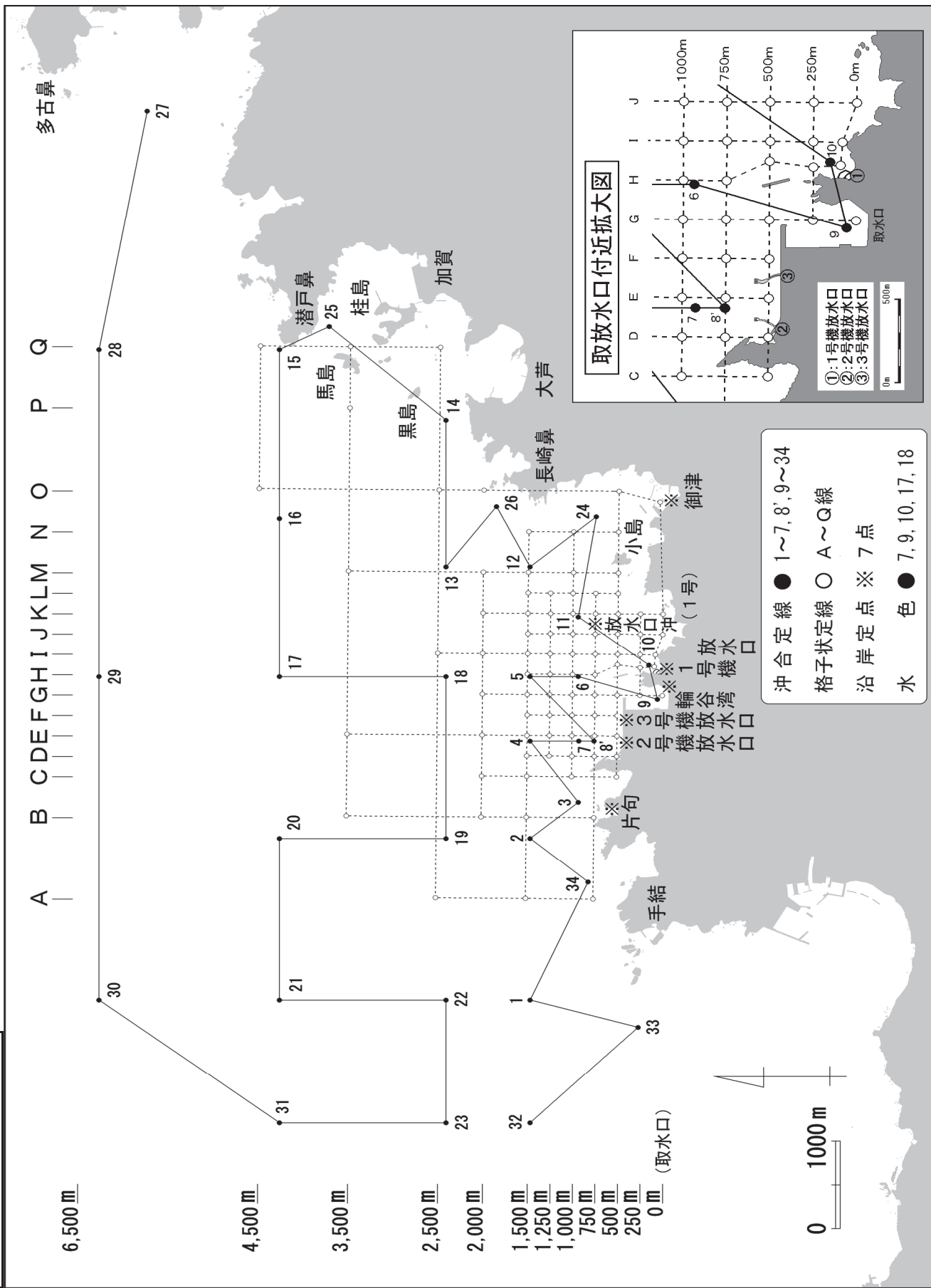
・発電状況 10月1日～12月31日 第17回定期検査のため発電停止

○ 3号機（建設中）（定格出力：137.3万kW、放水方式：水中放水）

- ・放水量 10月1日～12月31日 $3 \text{ m}^3 / \text{s}$

（燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし）

温排水測定定点图



沖合定線 ● 1~7, 8', 9~34
 格子状定線 ○ A~Q線
 沿岸定線 ※ 7点
 水色 ● 7, 9, 10, 17, 18

4. 調査結果の概要

今期の調査結果について、各々の測定項目ごとに温排水の影響に関する詳細な検討を行ったが、温排水に起因する特異な状況は認められなかった。なお1号機は第29回、2号機は第17回の定期検査中のため停止しており、また3号機は建設中であるため、全号機で原子炉の稼働に伴う温排水の放水は無かった。

(1) 沖合定線 [測定年月日 ; 平成 25年12月5日]

○ 測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機	2号機	3号機(建設中)
発電出力 (万 kW)	0	0	0
放水量 (m ³ /s)	22	2.4	3
放水口水温 (°C)	18.1	18.6	18.5
温度上昇 (°C)	0.2	0.7	0.6

○ 測定日の気象・海象 (7時31分 ~ 11時28分)

天 候	薄曇
気温 (°C)	9.4 ~ 13.5 °C
風 向	南南東 ~ 南西
風速 (m/s)	4.8 ~ 8.7 m/s
風 浪	1 (さざ波がある) ~ 3 (やや波がある)
うねり	1 (短くまたは中位の弱いうねり (波高2m未満))

a. 水温測定結果 7時31分 ~ 11時28分

最高水温は 18.3 °C (定点1 の 0m 他66点)

最低水温は 17.1 °C (定点25 の 17m 他2点)

基準水温は

水深層	基準水温	水深層	基準水温	水深層	基準水温
0 m	17.9°C	10 m	17.9°C	20 m	17.9°C
1 m	17.9°C	11 m	17.9°C	25 m	17.9°C
2 m	17.9°C	12 m	17.9°C	30 m	17.9°C
3 m	17.9°C	13 m	17.9°C	40 m	17.8°C
4 m	17.9°C	14 m	17.9°C	50 m	17.8°C
5 m	17.9°C	15 m	17.9°C	60 m	17.8°C
6 m	17.9°C	16 m	17.9°C	70 m	17.9°C
7 m	17.9°C	17 m	17.9°C		
8 m	17.9°C	18 m	17.9°C		
9 m	17.9°C	19 m	17.9°C		

(基準水温とは定点15、16、17、20、21の水深別の平均値)

最高水温(18.3°C)は、過去8ヶ年の第3四半期(以下「過去の」という)の測定範囲(16.5~29°C)内であり、最低水温(17.1°C)も過去の測定範囲(15.5~21.4°C)内であった。

[資料1-1「島根原子力発電所 沖合定線の水温」P.34参照]

b. 出現水温の観測状況（水温水平分布、水温鉛直分布）

【水温水平分布】

- 水温が基準水温より1℃以上高かった定点
測定されなかった。
- 水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった定点
定点 1 : 40・50 m層

深い水深層で、基準水温とする定点より水温の低下の程度が若干緩やかであった水塊を測定したもので、温排水の影響によるものではないと考えられる。

[資料1-2「島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図」P.35参照]

【水温鉛直分布】

- 水温が基準水温より1℃以上高かった水深層の水温範囲
測定されなかった。
- 水温が基準水温より0.5℃以上高かった水深層の水温範囲
40 m層 : 17.7 ~ 18.3 ℃ 基準水温 : 17.8 ℃
50 m層 : 17.7 ~ 18.3 ℃ 基準水温 : 17.8 ℃

深い水深層で、基準水温とする定点より水温の低下の程度が若干緩やかであった水塊を測定したもので、温排水の影響によるものではないと考えられる。

[資料1-3「島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図」P.36参照]

【過去の出現範囲との比較】

水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった水深層が測定された定点は、過去の出現範囲(2~11)外の1定点であった。

水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった水深層は、過去の出現範囲(0~4m層)外の40m・50m層であった。

[資料1-4「島根原子力発電所 基準水温より水温が高かった点の過去の出現範囲」P.37参照]

【欠測の定点】

定点9(取水口)は原子力発電所の工事のため、定点上に作業船がおり欠測した。また定点29測定後風浪が激しくなったため、以降の定点30, 31, 23, 32(調査順)を欠測した。

(2) 格子状定線 [測定年月日；平成25年12月5日]

○測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機	2号機	3号機(建設中)
発電出力(万kW)	0	0	0
放水量(m^3/s)	22	2.4	3
放水口水温($^{\circ}C$)	18.1	18.6	18.5
温度上昇($^{\circ}C$)	0.2	0.7	0.6

(2号機および3号機の放水量は補機冷却系の運転によるもの)

○測定日の気象・海象

	第1回(9時25分)	第2回(12時16分)
天候	晴	曇
気温($^{\circ}C$)	11.4	13.2
風向	南	南南西
風速(m/s)	3.3	3.5
風浪	2(なめらか、小波がある)	2(なめらか、小波がある)

a. 水温測定結果

第1回 9時3分～10時55分

最高水温は $18.2^{\circ}C$ (定線A・距離2500m・0m層, 他24点)

最低水温は $17.0^{\circ}C$ (定線0・距離0m・3m層)

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第1回) P.38～P.39参照]

第2回 11時10分～13時9分

風浪が激しくなったため、定点：G500を欠測した。

最高水温は $18.2^{\circ}C$ (定線B・距離2000m・0m層, 他46点)

最低水温は $17.3^{\circ}C$ (定線0・距離0m・3m層, 他1点)

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第2回) P.40～P.41参照]

b. 温排水の拡散状況(水温水平分布、水温鉛直分布)

基準水温より $1^{\circ}C$ 以上高い水温上昇域は、1回目、2回目共に確認されなかった。

[資料2-2「島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図」 P.42～P.43参照]

[資料2-3「島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図」 P.44～P.45参照]

(3) 沿岸定点 [測定年月日；平成25年10月1日～12月31日]

a. 水温測定結果 (10時データ)

単位：℃

	10月		11月		12月	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低
放水口沖 (1号)	24.7 (22.5～28.1)	22.3 (21.6～23.9)	21.1 (19.4～23.0)	19.0 (18.7～21.9)	17.8 (17.5～22.1)	15.2 (15.4～18.8)
1号機放水口	25.4 (23.2～32.4)	21.2 (20.0～29.8)	21.7 (20.5～29.6)	18.1 (17.8～26.7)	18.2 (17.6～29.5)	14.0 (14.2～26.3)
2号機放水口	25.5 (25.0～31.5)	21.7 (19.9～28.6)	22.2 (19.8～28.8)	18.4 (18.0～26.4)	18.6 (18.6～26.2)	14.6 (14.9～22.9)
3号機放水口	25.6 (25.7)	21.8 (22.0)	22.4 (22.5)	18.4 (19.7)	18.6 (19.4)	14.6 (16.5)
輪谷湾	24.9 (22.2～26.1)	21.0 (20.1～22.2)	21.4 (19.8～22.4)	17.7 (17.5～19.7)	17.8 (17.3～20.0)	13.9 (14.1～16.6)
片 句	24.8 (21.9～24.8)	20.8 (19.7～21.5)	21.0 (19.6～21.8)	17.7 (17.4～19.5)	17.9 (17.1～19.3)	14.0 (13.5～16.0)
御 津	24.6 (22.0～25.0)	20.1 (19.6～21.5)	※ 20.0 (19.2～21.9)	※ 16.1 (16.7～18.6)	17.1 (16.9～18.7)	12.3 (12.7～15.4)

※ 11月25日については、強風による停電に伴い欠測

- 注) 1. 放水口沖(1号)の水温は、月3回(上旬、中旬、下旬)の測定値
 2. 3号機放水口を除く表中()内は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲(最低～最高)
 3. 表中■部分は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲(最低～最高)から外れたもの
 4. 3号機放水口の表中()内は、前年度の同月水温

[資料3-1「島根原子力発電所 沿岸定点の水温」P.46～P.47参照]

[資料3-2「島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移」P.48参照]

過去10ヶ年の同月水温の観測範囲内(最低～最高)と比較して、御津の11月最低および12月は一般的に低い値が観測され、片句を除く観測定点において最低が外れていた。これ以外の観測定点の水温は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲内(最低～最高)に収まるものであった。沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果は資料3-3「島根原子力発電所沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果」(P.49参照)のとおり。

b. 取水-放水温度差 (温度上昇)

単位：℃

	10月	11月	12月
1号機	0.2～0.7	0.1～0.3	0.0～0.2
2号機	0.2～1.1	0.2～1.5	0.4～1.0
3号機(建設中)	0.4～1.4	0.2～1.0	0.5～0.9

注) 1号機放水量は 10月1日～10月8日 1 m³/s
 10月9日～11月25日 22 m³/s
 11月26日 1 m³/s
 11月27日～12月31日 22 m³/s

2号機放水量は 10月1日～12月31日 2.4 m³/s

3号機放水量は 10月1日～12月31日 3 m³/s
 (燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし)

(4) 水色〔測定年月日；平成 25年12月5日〕

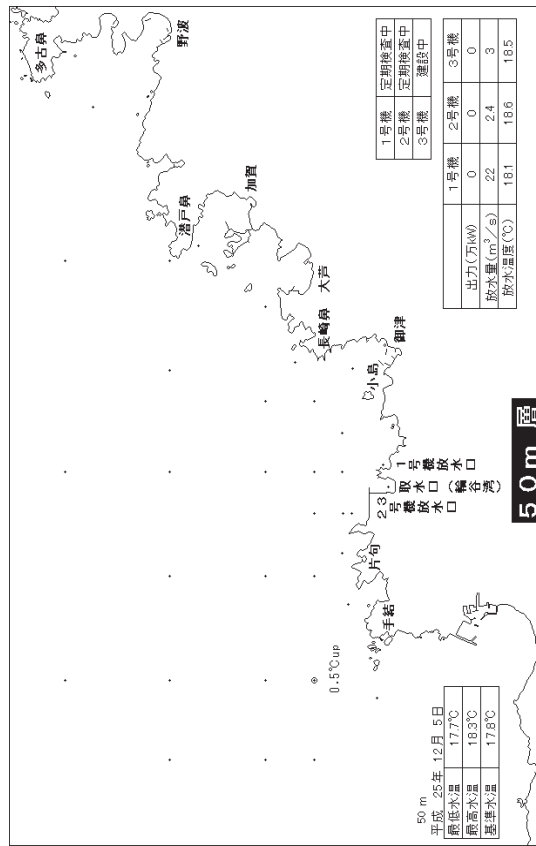
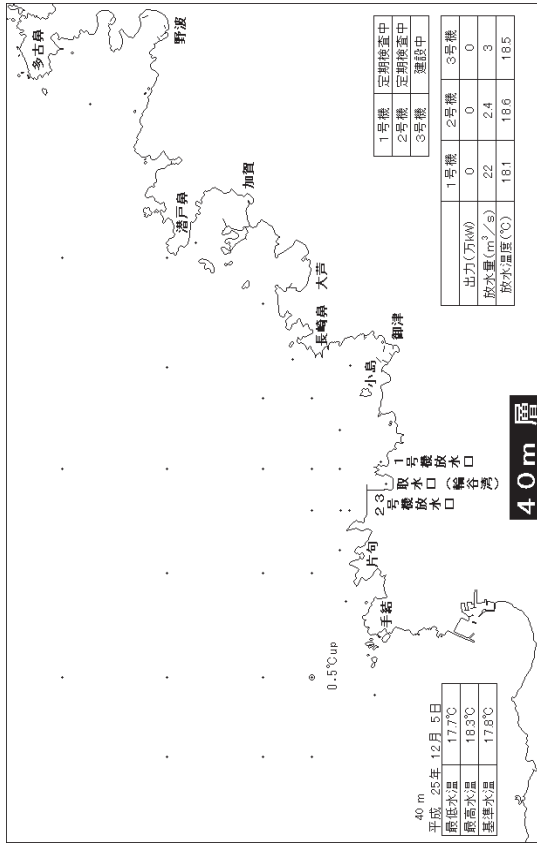
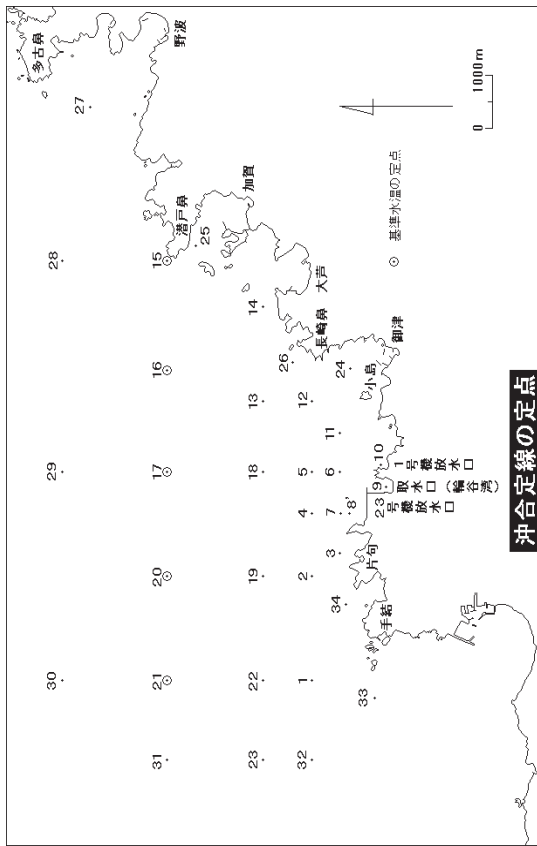
定点	7	9 (取水口前)	10 (1号機放水口前)	17	18
時刻	8時14分	-	8時40分	10時18分	9時31分
水色	2	欠測	3	2	2

過去8ヶ年の第3四半期の観測範囲（水色3～5）外の水色2が3定点で観測された。

また、内湾等を除く日本近海の水色分布の範囲（水色2～6）内であった。（出典 海洋の事典 東京堂出版）

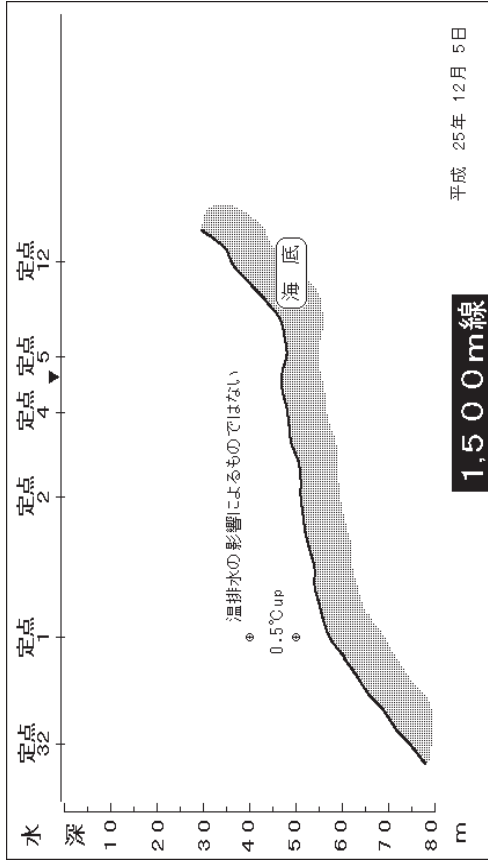
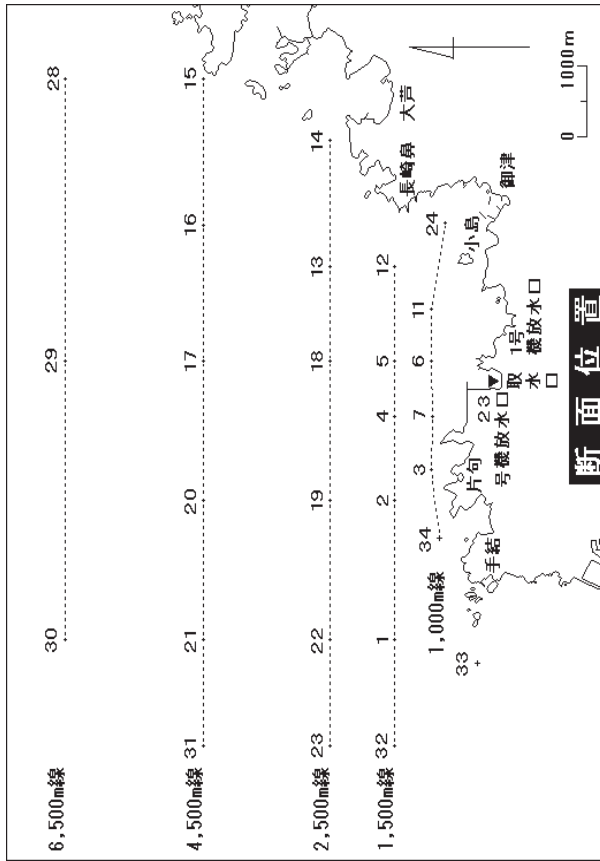
水色について：測定に使用しているフォーレルの水色計では水色は1から11まであり、

1は澄んだ海を表す青色で数字が大きくなるほど濁った海水を表す黄色がかった色になります。



40・50m層以外の水深層では、基準水温より0.5℃以上の上昇域は測定されなかつた。

島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図 (基準水温との温度差) 平成25年12月5日



1,500m線以外では、基準水温より0.5°C以上の上昇域は測定されなかった。

島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図 (基準水温との温度差) 平成25年12月5日

基準水温より水温が高かった定点の過去の出現範囲(17~24年度の第3四半期)

区分	水深	定 点 番 号																																				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
1 ℃ 以上	0					*	*	*	*																	*												
	1						*	*	*	*																*												
	2							*	*	*	*																											
	3										*																											
	4																																					
	5																																					
	6																																					
	7																																					
	8																																					
	9																																					
	10																																					
	11																																					
	12																																					
	13																																					
	14																																					
	15																																					
	16																																					
	17																																					
	18																																					
	19																																					
20																																						
25																																						
30																																						
40																																						
50																																						
60																																						
70																																						
80																																						
0 ・ 5 ℃ 以上 1 ℃ 未 満	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*																												
	1			*	*	*	*	*	*	*	*																											
	2			*	*	*	*	*	*	*	*																											
	3				*	*	*	*	*	*																												
	4						*	*	*	*																												
	5																																					
	6																																					
	7																																					
	8																																					
	9																																					
	10																																					
	11																																					
	12																																					
	13																																					
	14																																					
	15																																					
	16																																					
	17																																					
	18																																					
	19																																					
20																																						
25																																						
30																																						
40																																						
50																																						
60																																						
70																																						
80																																						

島根原子力発電所 格子状定線の水温(第1回)

(平成25年12月5日 09:03~10:55)

1号機出力: 0万kW
 2号機出力: 0万kW
 3号機出力: 0万kW

1号機放水量: 22 m³/s
 2号機放水量: 2.4 m³/s
 3号機放水量: 3 m³/s

気候: 晴

気温: 11.4℃
 風浪: 浪

○水温の最高 18.2℃ (定線A・距離2500m・0m層, 他24点)
 ○水温の最低 17.0℃ (定線O・距離0m・3m層)

定線	距離 (m)	測定水深 (m)																														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	25	30	40	50	60	70	海底上1m			
A線	750																															
	1500	9:24	9:40	18.0	17.9	17.9	18.0	18.0	18.0	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.2		
	2500	9:44	9:53																													
B線	750	9:03	9:08	18.1	18.1	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0		
	1500																															
	2000	9:38	9:43	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.0	18.0	18.0	17.9	17.8	17.7	17.8		
C線	3500	10:42	10:55	17.8	17.8	17.8	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9		
	500																															
	1000	9:11	9:15	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0		
D線	1500																															
	2000	9:30	9:34	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0		
	500	9:03	9:05	17.9	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0		
E線	750	9:28	9:31	17.9	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0		
	1250	9:17	9:20	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	1500	9:22	9:25	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
F線	500	9:08	9:11	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	18.0	
	750	9:23	9:26	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	
	1000	9:37	9:40	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
G線	1250	9:55	10:09	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	2000	10:11	10:18	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	3500	9:56	10:01	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	
H線	500	9:15	9:17	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	
	750	9:18	9:21	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	1000	9:42	9:45	17.9	18.0	17.9	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
I線	1250	9:47	9:52	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	
	1500	10:27	10:33	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	250																															
J線	500	9:03	9:08	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	750	9:22	9:27	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	
	1000	9:28	9:35	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	
K線	1250	9:51	9:57	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	
	1500	10:14	10:24	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	2000	10:34	10:41	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	
L線	250	9:07	9:09	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	
	500	9:10	9:13	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	750	9:16	9:20	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	
M線	1000	9:36	9:41	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	
	1250	9:44	9:50	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	
	1500	9:58	10:12	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.8	

■ : 水温の最低

▨ : 水温の最高

島根原子力発電所 格子状定線の水温水水平分布図 (基準水温との温度差)

平成25年12月5日 第1回
9時03分～10時55分

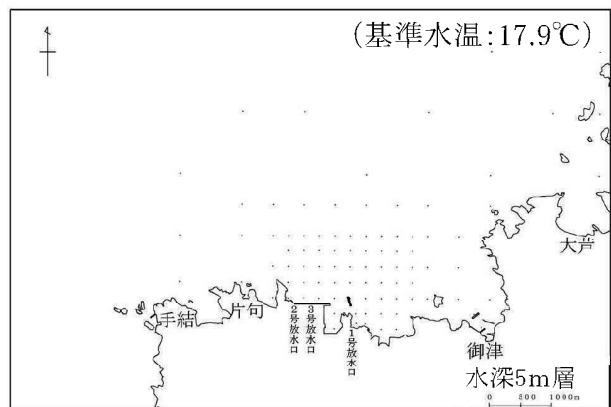
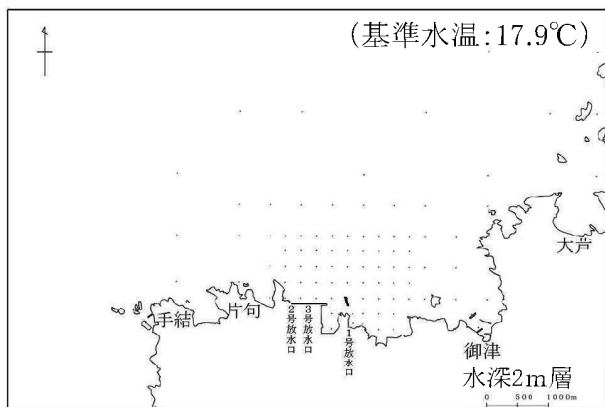
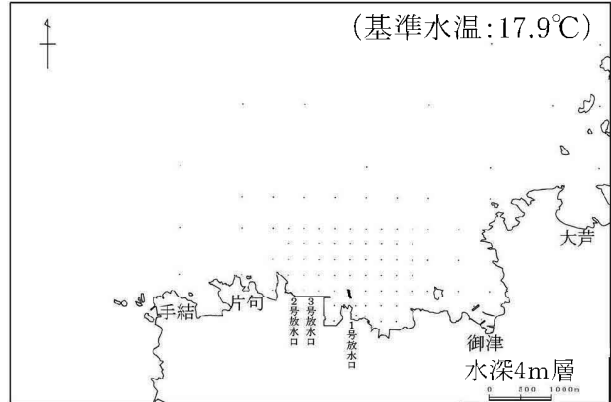
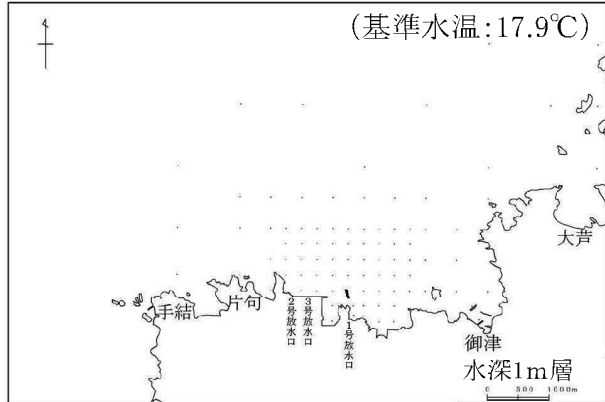
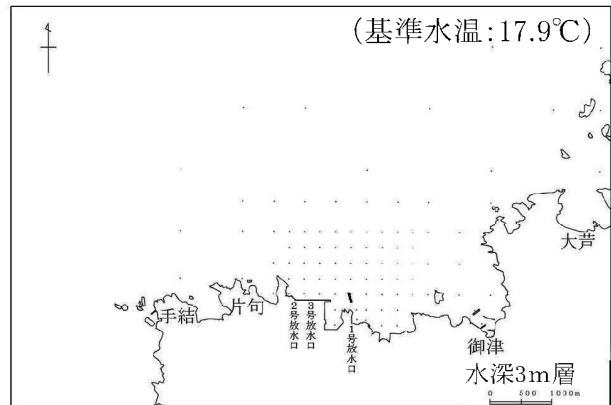
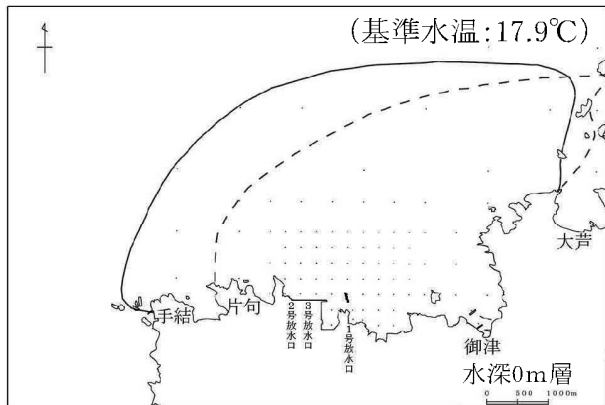
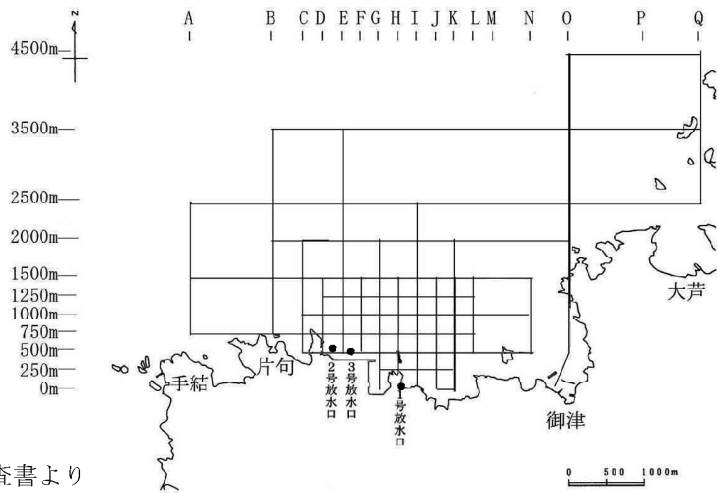
出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	22
	2号機	2.4
	3号機	3
天候		晴
気温 (°C)		11.4
風向		南
風速 (m/s)		3.3
風浪		2

※基準水温
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、
P3500の6点の平均値

※1°C上昇域予測包絡範囲の凡例

————— 島根原発2号機修正環境影響調査書より

- - - - - 島根原発3号機環境影響評価書より



◎基準水温より1°C以上高い水温上昇域は
確認されなかった。

- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図（基準水温との温度差）

平成25年12月5日 第2回
11時10分～13時09分

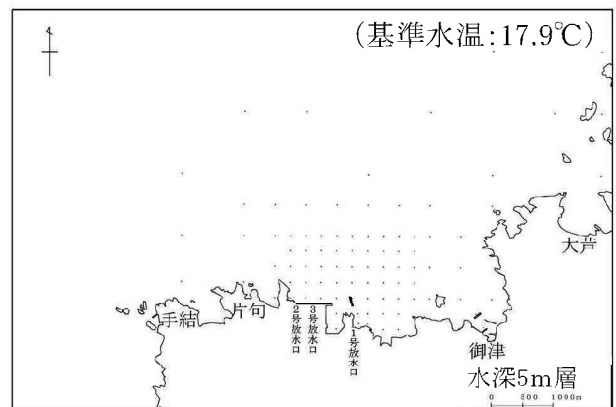
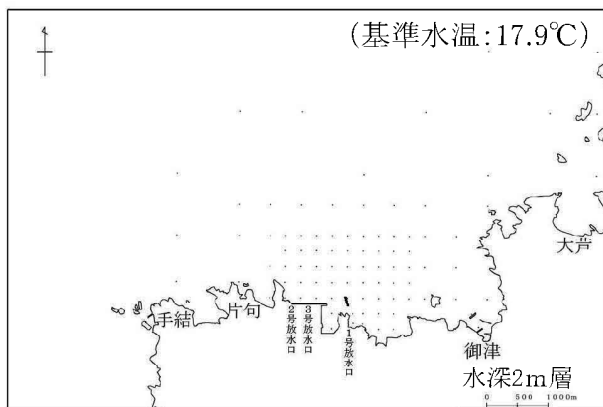
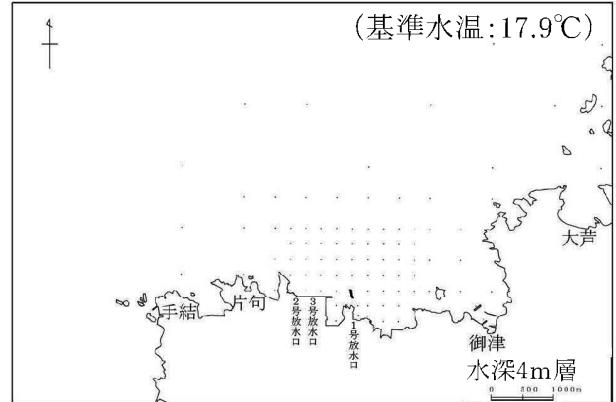
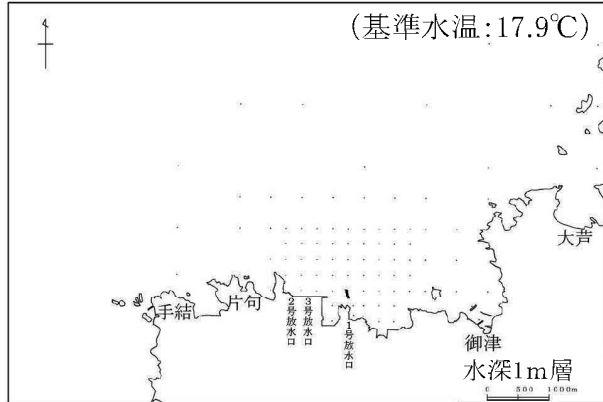
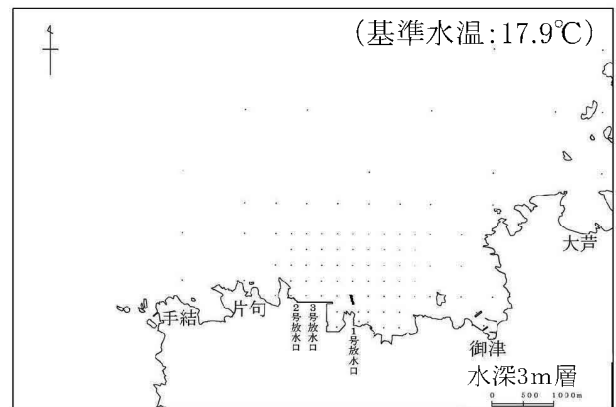
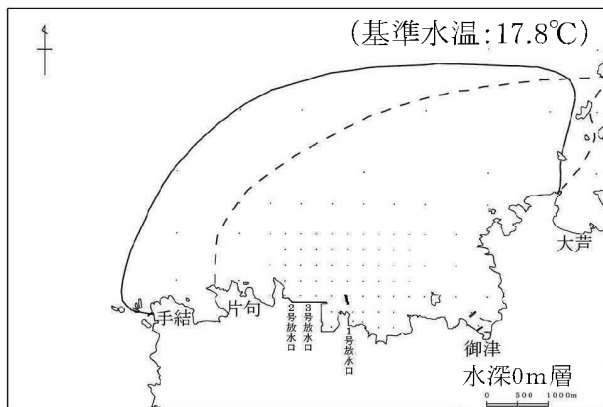
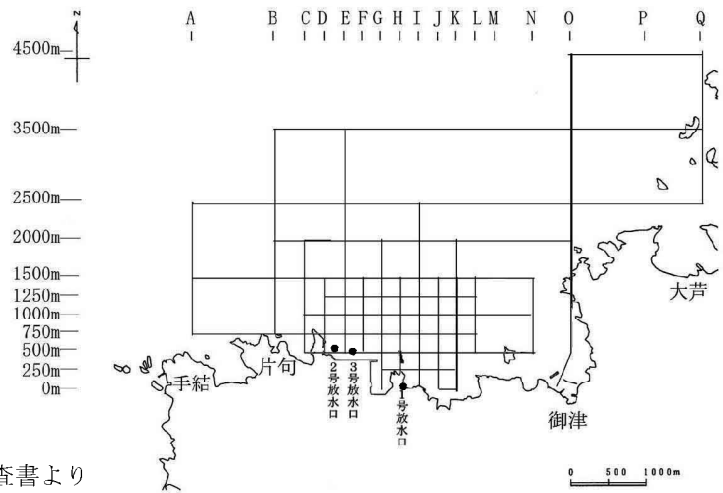
出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	22
	2号機	2.4
	3号機	3
天候		曇
気温 (°C)		13.2
風向		南南西
風速 (m/s)		3.5
風浪		2

※基準水温
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、
P3500の6点の平均値

※1°C上昇域予測包絡範囲の凡例

————— 島根原発2号機修正環境影響調査書より

- - - - - 島根原発3号機環境影響評価書より



◎基準水温より1°C以上高い水温上昇域は
確認されなかった。

◎風浪が激しくなったため、定点：G500を
欠測した。

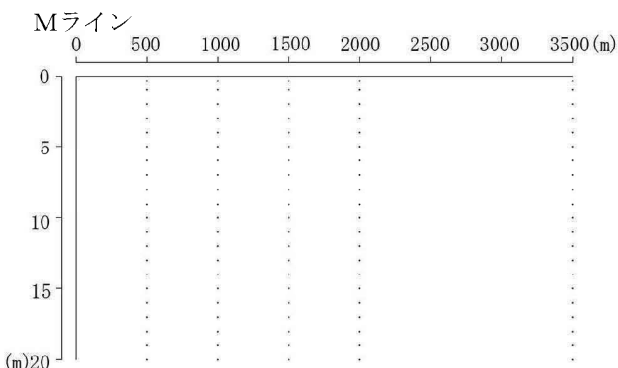
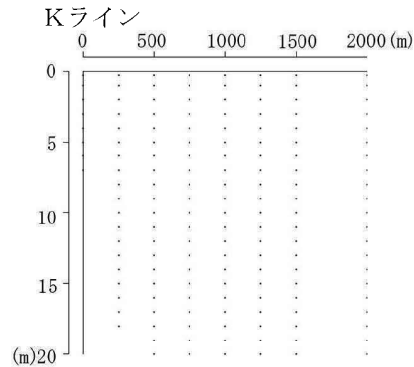
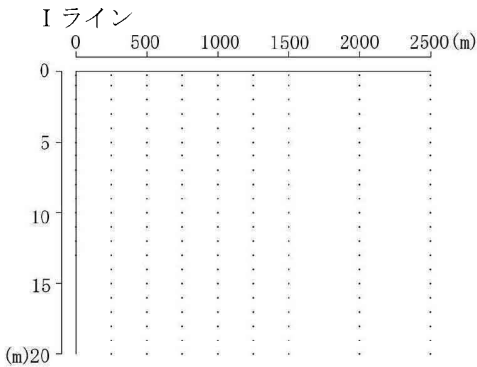
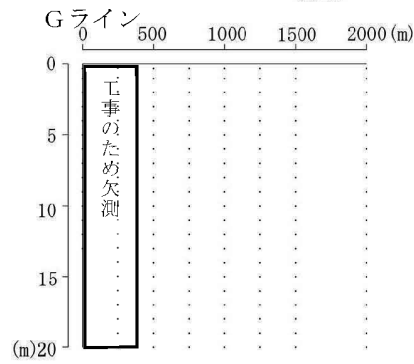
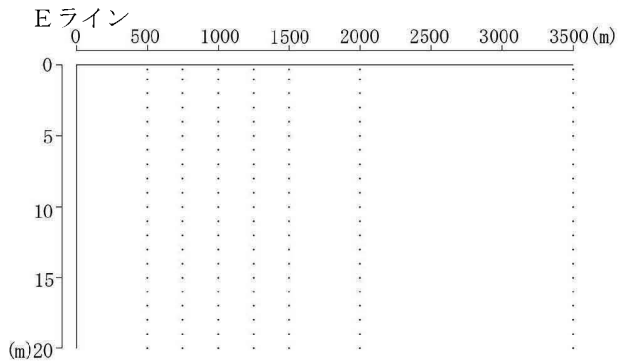
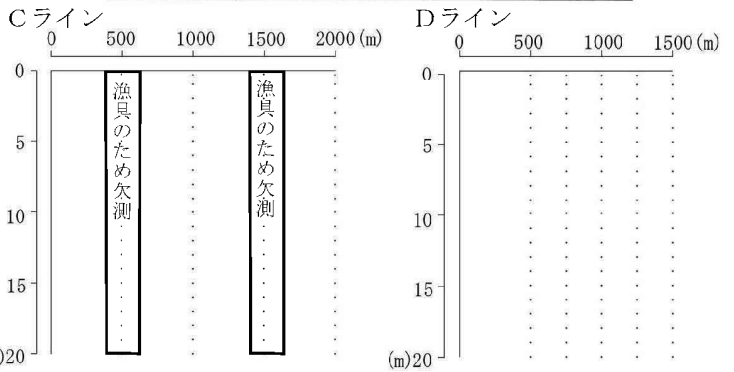
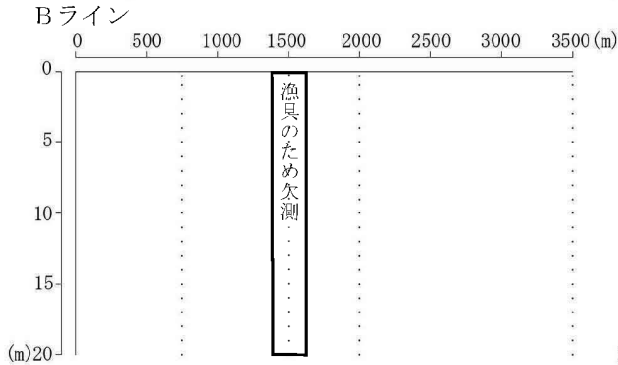
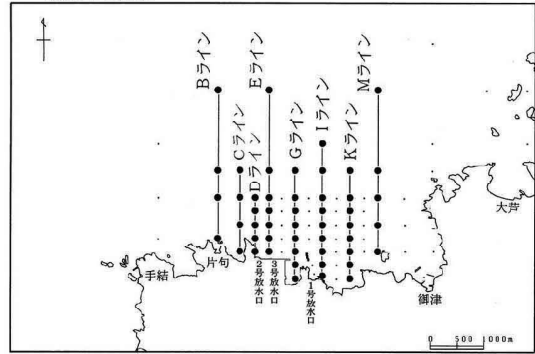
- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水溫鉛直分布図 (基準水溫との温度差)

平成25年12月5日 第1回
9時03分～10時55分

出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	22
	2号機	2.4
	3号機	3
天候	晴	
気温	(°C)	11.4
風向	南	
風速	(m/s)	3.3
風浪	2	

断面位置見取図



- 基準水溫より1°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より2°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より3°C以上高い水溫上昇域

水深	基準水溫(°C)
0m層	17.9
1m層	17.9
2m層	17.9
3m層	17.9
4m層	17.9
5m層	17.9

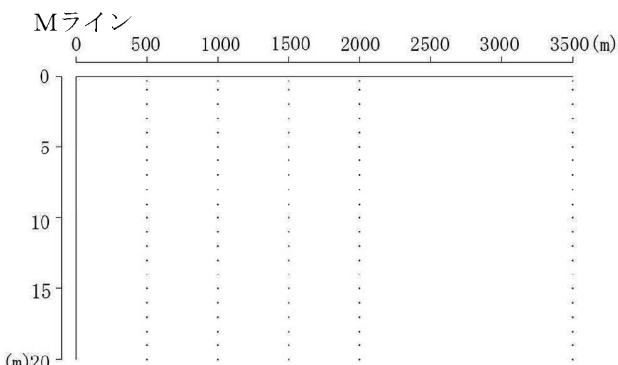
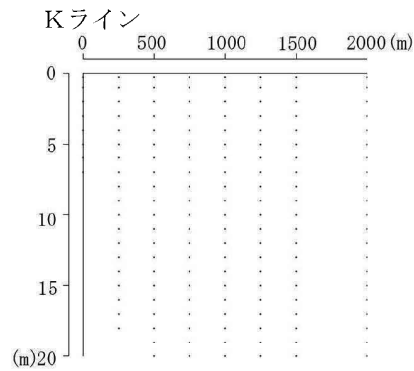
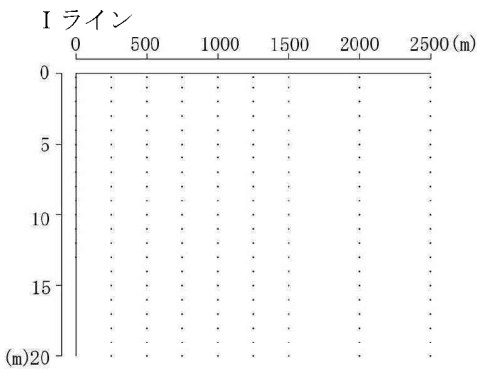
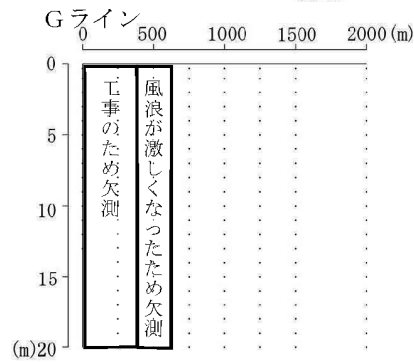
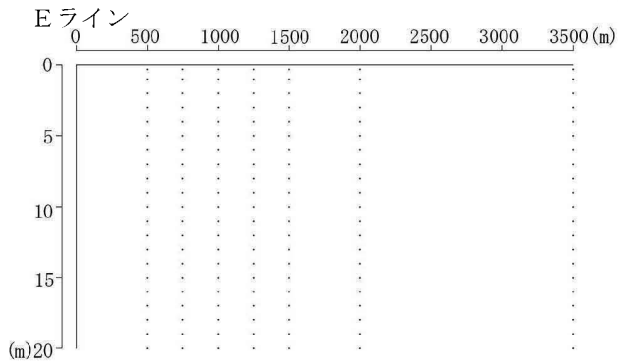
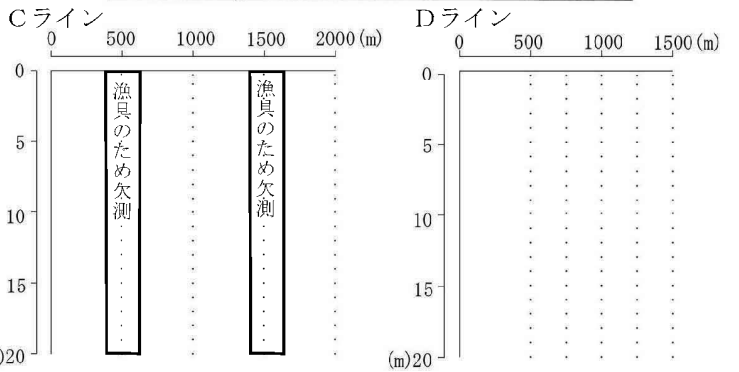
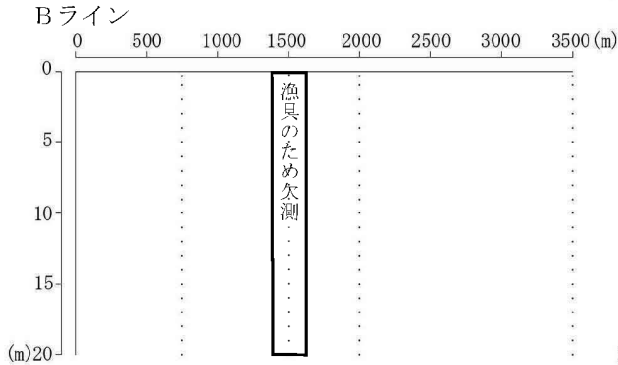
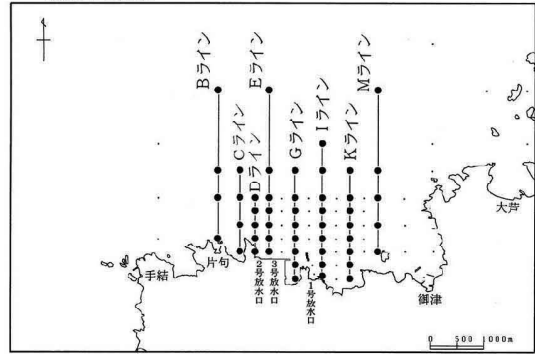
※基準水溫
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値

島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図（基準水温との温度差）

平成25年12月5日 第2回
11時10分～13時09分

出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	22
	2号機	2.4
	3号機	3
天候	曇	
気温	(°C)	13.2
風向	南南西	
風速	(m/s)	3.5
風浪	2	

断面位置見取図



- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

水深	基準水温(°C)
0m層	17.8
1m層	17.9
2m層	17.9
3m層	17.9
4m層	17.9
5m層	17.9

※基準水温
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値
◎風浪が激しくなったため、定点：G500を欠測した。

島根原子力発電所 沿岸定点の水温 (平成25年11月)

観測時刻 10 時

(単位:℃)

場所	日 水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	水深別 平均	月間 最高 最低	
		1号機放水口	1m	21.1	21.3	21.7	21.5	21.2	21.1	21.2	20.9	20.9	21.0	20.6	20.4	20.0	19.9	20.1	20.1	19.9	19.5	19.3	18.9	19.2	18.9	18.7	18.7	18.8	18.7	18.5	18.2		18.1	18.1
2号機放水口	1m	21.6	22.0	22.2	22.0	21.7	21.6	22.0	21.5	21.8	21.6	21.6	21.2	21.0	20.9	21.3	20.3	19.9	20.6	20.1	20.0	19.9	20.0	19.9	19.4	19.5	19.1	18.8	18.9	18.4	18.4	20.6	22.2	18.4
3号機放水口	4m	21.7	21.9	22.4	22.1	21.8	21.7	21.8	21.6	21.5	21.5	21.4	21.0	20.6	20.4	20.5	20.5	20.3	20.1	19.7	19.5	19.4	19.1	19.2	19.3	19.0	18.9	18.8	18.5	18.4	20.4	22.4	18.4	
輪谷湾	1m	20.9	21.0	21.4	21.3	20.9	20.9	21.0	20.8	20.8	20.8	20.4	20.1	19.8	19.7	19.9	19.9	19.7	19.4	19.0	18.7	18.8	18.7	18.4	18.5	18.7	18.2	18.2	18.0	17.7	17.7	19.6	21.4	17.7
	3m	20.8	21.0	21.5	21.2	20.9	20.9	21.1	20.8	20.7	20.8	20.4	20.0	19.8	19.6	19.9	20.0	19.8	19.4	18.9	18.6	18.8	18.7	18.4	18.4	18.7	18.2	18.1	17.9	17.7	17.6	19.6	21.5	17.6
片匂	1m	20.7	20.6	20.9	20.7	21.0	20.6	20.6	20.8	20.7	20.5	20.4	20.0	19.5	19.6	19.6	19.4	19.1	19.4	18.9	18.9	18.8	18.5	18.5	18.3	18.3	18.6	18.5	18.0	17.7	17.8	19.5	21.0	17.7
	3m	20.8	20.8	21.0	20.8	21.0	20.8	20.8	20.8	20.8	20.7	20.5	20.2	19.6	19.8	19.9	19.6	19.4	19.5	19.0	19.0	18.9	18.7	18.6	18.4	18.5	18.8	18.6	18.2	17.9	17.9	19.6	21.0	17.9
御津	1m	20.0	20.0	20.0	19.9	19.6	19.5	19.9	19.5	19.9	19.9	19.3	18.6	18.6	18.1	18.5	19.2	19.2	18.1	17.7	17.2	17.5	17.9	17.6	17.4	※1	16.7	17.0	16.1	16.8	17.1	18.5	20.0	16.1
	3m	20.1	20.0	20.2	20.2	19.8	19.8	20.1	19.8	20.1	20.1	19.5	18.9	18.7	18.3	19.1	19.4	19.4	18.3	18.0	17.4	17.7	18.0	17.8	17.7	※1	17.0	17.2	16.4	17.0	17.1	18.7	20.2	16.4

※1 強風による停電に伴う欠測

場所	日 水深	上旬 (1日)	中旬 (14日)	下旬 (22日)	水深別 平均	月間 最高 最低	
		※2	21.1	20.2		19.0	20.1
放水口沖 (1号)	0m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	1m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	2m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	3m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	4m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	5m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	6m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	7m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	8m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
	9m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0
10m	21.1	20.2	19.0	20.1	21.1	19.0	

※2 放水口沖水温は、可搬式水温計による実測値。

島根原子力発電所 沿岸定点の水溫 (平成25年12月)

観測時刻 10 時

(単位: °C)

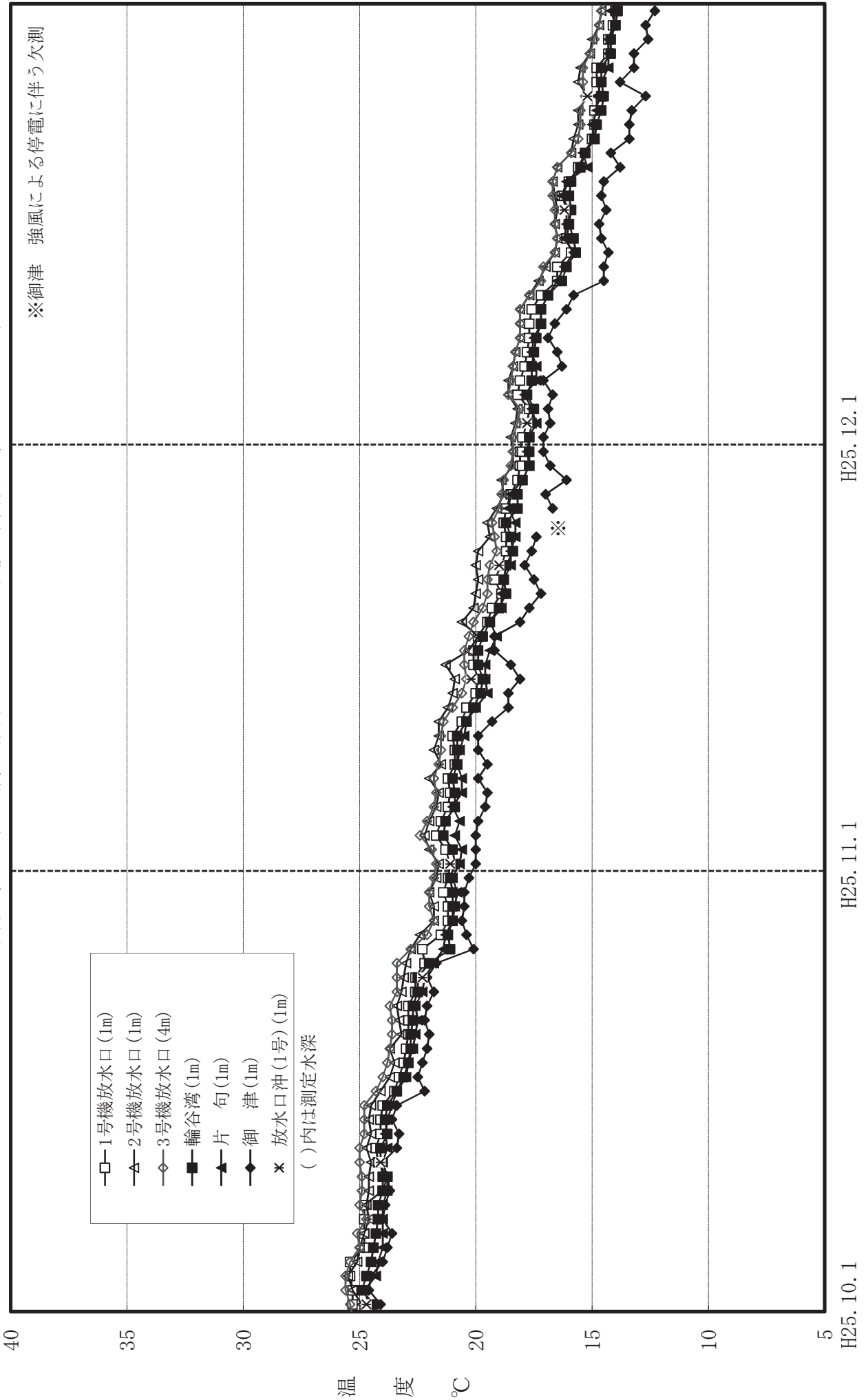
場所	日 水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	水深別 平均	月間 最高最低		
		1号機放水口	1m	18.0	17.8	17.7	18.2	18.1	17.9	17.8	17.7	17.7	17.6	17.2	16.5	16.5	15.9	16.1	16.0	16.0	16.3	16.0	15.6	15.3	15.0	14.9	14.9	14.6	14.8	14.3	14.1	14.0		16.2	18.2	14.0
2号機放水口	1m	18.5	18.3	18.2	18.6	18.6	18.4	18.3	18.1	18.1	18.1	17.7	17.3	17.0	16.6	16.5	16.6	16.5	16.6	16.7	16.5	15.9	15.8	15.6	15.6	15.6	15.2	15.6	15.5	15.1	15.0	14.7	14.6	16.8	18.6	14.6
3号機放水口	4m	18.4	18.2	18.1	18.6	18.5	18.4	18.3	18.1	18.1	18.1	17.7	17.2	17.1	16.6	16.5	16.6	16.6	16.7	16.7	16.5	15.9	15.6	15.5	15.5	15.3	15.4	15.1	14.9	14.7	14.6	14.6	16.7	18.6	14.6	
輪谷湾	1m	17.7	17.6	17.5	17.8	17.6	17.6	17.5	17.4	17.2	17.2	16.9	16.3	16.1	15.7	15.8	16.0	15.9	16.0	15.9	15.5	15.3	14.9	14.8	14.6	14.5	14.6	14.2	14.2	14.0	13.9	16.0	17.8	13.9		
	3m	17.7	17.6	17.5	17.7	17.8	17.6	17.4	17.3	17.2	17.2	16.9	16.2	16.1	15.6	15.8	15.9	15.9	16.0	15.9	15.5	15.2	14.9	14.7	14.6	14.5	14.6	14.2	14.1	14.0	13.8	15.9	17.8	13.8		
片匂	1m	17.7	17.4	17.6	17.9	17.4	17.4	17.6	17.5	17.2	17.2	16.9	16.5	16.2	15.8	16.2	16.1	16.1	16.1	16.3	16.1	15.2	14.9	15.0	14.8	14.8	14.6	14.3	14.3	14.0	14.2	16.0	17.9	14.0		
	3m	17.8	17.5	17.7	18.0	17.6	17.6	17.7	17.6	17.3	17.4	17.1	16.7	16.3	16.0	16.3	16.0	16.3	16.2	16.4	16.3	15.4	15.6	15.1	15.2	14.9	14.9	14.7	14.4	14.5	14.2	14.3	16.2	18.0	14.2	
御津	1m	17.1	16.8	16.9	16.7	17.1	16.3	16.5	16.9	16.6	16.1	15.8	14.5	14.5	14.3	14.6	14.8	14.7	14.4	14.6	14.5	13.8	14.2	13.4	13.3	12.7	13.8	13.2	12.6	12.7	12.3	14.8	17.1	12.3		
	3m	17.1	16.9	17.0	17.2	17.1	16.6	16.8	17.0	16.7	16.4	16.1	14.8	14.8	14.6	14.8	14.9	14.7	14.8	14.8	14.1	14.5	13.8	13.5	14.2	13.4	14.0	13.5	13.0	12.9	12.6	15.0	17.2	12.6		

場所	日 水深	上旬 (2日)	中旬 (17日)	下旬 (25日)	水深別 平均	月間 最高最低	
		11m	17.8	16.2		15.1	16.4
※ 放水口沖 (1号)	12m	17.8	16.2	15.1	16.4	17.8	15.1
	13m	17.8	16.2	15.1	16.4	17.8	15.1
	14m	17.8	16.2	15.1	16.4	17.8	15.1
	15m	17.8	16.1	15.1	16.3	17.8	15.1
	16m	17.8	16.1	15.0	16.3	17.8	15.0
	17m	17.8	16.1	15.0	16.3	17.8	15.0
	18m	17.8	16.1	15.0	16.3	17.8	15.0
	19m	17.8	16.1	15.0	16.3	17.8	15.0
	20m	17.8	16.1	15.0	16.3	17.8	15.0

※ 放水口沖水溫は、可搬式水溫計による実測値。

場所	日 水深	上旬 (2日)	中旬 (17日)	下旬 (25日)	水深別 平均	月間 最高最低	
		0m	17.8	16.2		15.1	16.4
※ 放水口沖 (1号)	1m	17.8	16.2	15.2	16.4	17.8	15.2
	2m	17.8	16.2	15.1	16.4	17.8	15.1
	3m	17.8	16.3	15.2	16.4	17.8	15.2
	4m	17.8	16.3	15.2	16.4	17.8	15.2
	5m	17.8	16.3	15.2	16.4	17.8	15.2
	6m	17.8	16.3	15.2	16.4	17.8	15.2
	7m	17.8	16.3	15.2	16.4	17.8	15.2
	8m	17.8	16.2	15.2	16.4	17.8	15.2
	9m	17.8	16.2	15.1	16.4	17.8	15.1
	10m	17.8	16.2	15.1	16.4	17.8	15.1

島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移 (平成25年10月～12月)



島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果

場 所	時刻	測定年月日 平成 25 年 12 月 5 日																								水深別 平均	最高	最低		
	水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24					
1号機放水口	1m	18.2	18.2	18.2	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.1	18.2	18.0	
	1m	18.7	18.7	18.7	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.6	18.7	18.5	
	4m	18.7	18.6	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.4	18.5	18.5	18.4	
輪 谷 湾	1m	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.6	17.6	17.6	17.6	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.8	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.8	17.7	17.6
	3m	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.8	17.8	17.9	17.6	17.8	17.8	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.9	17.7	17.6
片 匂	1m	17.6	17.6	17.5	17.5	17.4	17.4	17.4	17.4	17.4	17.4	17.5	17.7	17.7	17.7	17.7	17.6	17.7	17.6	17.5	17.5	17.4	17.5	17.5	17.5	17.4	17.5	17.7	17.4	17.4
	3m	17.8	17.8	17.8	17.7	17.7	17.6	17.5	17.6	17.6	17.6	17.6	17.8	17.8	17.7	17.7	17.6	17.7	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.7	17.8	17.7	17.5
御 津	1m	17.2	17.1	17.0	17.0	16.9	16.8	16.7	16.9	17.1	17.3	17.4	17.5	17.5	17.5	17.5	17.4	17.4	17.3	17.2	17.1	17.1	17.1	17.0	16.9	16.9	17.1	17.5	16.7	16.7
	3m	17.4	17.3	17.3	17.2	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.2	17.2	17.4	17.6	17.5	17.5	17.5	17.4	17.4	17.4	17.3	17.3	17.2	17.2	17.3	17.6	17.1	17.1

III 参 考 资 料

1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果

単 位 : 【 nGy/h 】

	区 分	N o . 1	N o . 2	N o . 3	N o . 4	N o . 5	N o . 6
4月	平 均 値	24	27	35	24	31	30
	最 大 値	57	53	61	55	59	53
5月	平 均 値	23	27	34	24	31	29
	最 大 値	50	51	61	50	60	54
6月	平 均 値	24	27	35	25	32	30
	最 大 値	64	64	77	65	72	64
7月	平 均 値	23	27	35	24	31	29
	最 大 値	55	55	69	57	65	57
8月	平 均 値	23	27	35	25	32	30
	最 大 値	57	54	68	54	63	55
9月	平 均 値	23	28	36	25	32	30
	最 大 値	50	53	67	51	68	59
10月	平 均 値	22	28	36	25	32	30
	最 大 値	37	47	56	38	52	44
11月	平 均 値	23	30	37	26	33	31
	最 大 値	48	54	64	52	62	51
12月	平 均 値	23	30	36	25	33	30
	最 大 値	63	67	81	72	79	70
1月	平 均 値						
2月	平 均 値						
3月	平 均 値						
前年度までのデータ	月平均値の範囲	19~25	23~29	30~40	21~26	28~33	26~31
	2分値の最大値	84	86	115	105	130	100

- (注) 1. 測定者 中国電力
 2. 測定方法 3"φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 平成13年4月から2分値を測定値としている。
 このため、「前年度までのデータ」は、平成13年4月~25年3月の2分値について記載した。

2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況

(1) 液体廃棄物及び気体廃棄物

	液体廃棄物		気体廃棄物							
	トリチウムを除く (Bq)	トリチウム (Bq)	放射性希ガス (Bq)	放射性 よう素 [¹³¹ I] (Bq)	トリチウム (Bq)	全粒子状物質（四半期合計値） (Bq)				
						γ線 放出核種	⁸⁹ Sr, ⁹⁰ Sr	全α 放射能		
原 子 力 発 電 所	4月	ND	1.1×10 ¹⁰	ND	ND	1.2×10 ¹⁰	ND	ND	ND	
	5月	ND	1.1×10 ¹⁰	ND	ND	1.4×10 ¹⁰				
	6月	ND	2.2×10 ¹⁰	ND	ND	1.6×10 ¹⁰				
	7月	ND	5.2×10 ⁹	ND	ND	2.1×10 ¹⁰	ND	ND	ND	
	8月	ND	1.9×10 ⁹	ND	ND	2.5×10 ¹⁰				
	9月	ND	5.7×10 ⁹	ND	ND	2.0×10 ¹⁰				
	10月	ND	1.4×10 ¹⁰	ND	ND	1.6×10 ¹⁰	ND	ND	ND	
	11月	ND	2.8×10 ¹⁰	ND	ND	1.1×10 ¹⁰				
	12月	ND	2.7×10 ¹⁰	ND	ND	8.9×10 ⁹				
	計	1月								
		2月								
		3月								
年間合計										
年間放出 管理目標値	7.4×10 ¹⁰	(7.4×10 ¹²) (注2)	8.4×10 ¹⁴	4.3×10 ¹⁰						

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

検出下限値は、液体廃棄物(トリチウムを除く)	約2×10 ⁻² Bq/cm ³ (⁶⁰ Coで代表)
気体廃棄物(放射性希ガス)	約2×10 ⁻² Bq/cm ³
気体廃棄物(放射性よう素)	約7×10 ⁻⁹ Bq/cm ³
気体廃棄物(γ線放出核種)	約4×10 ⁻⁹ Bq/cm ³ (⁶⁰ Coで代表)
気体廃棄物(⁸⁹ Sr, ⁹⁰ Sr)	約4×10 ⁻¹⁰ Bq/cm ³ (⁹⁰ Srで代表)
気体廃棄物(全α放射能)	約4×10 ⁻¹⁰ Bq/cm ³

2. 年間放出管理の基準値

(2) 固体廃棄物

		固 体 廃 棄 物					
		ド ラ ム 缶			そ の 他 の 種 類		
		発 生 量 (本)	焼 却 量・ 減 容 処 理 量 等 (本)	累 積 保 管 量 (本)	発 生 量 (本 相 当)	焼 却 量・ 減 容 処 理 量 等 (本 相 当)	累 積 保 管 量 (本 相 当)
原 子 炉 施 設 合 計	4月	303	184	24,444	37	39	2,653
	5月	304	150	24,598	0	52	2,601
	6月	159	758 (注2)	23,999	0	116	2,485
	7月	284	84	24,199	0	12	2,473
	8月	183	60	24,322	0	0	2,473
	9月	197	64	24,455	63	0	2,536
	10月	207	73	24,589	0	31	2,505
	11月	102	45	24,646	31	27	2,509
	12月	191	178	24,659	0	177	2,332
	1月						
	2月						
	3月						
年間合計							

- (注) 1. 固体廃棄物貯蔵所の保管容量は、35,500本である。
2. 低レベル放射性廃棄物埋設センターへの搬出量(608本)を含む。

3. 島根原子力発電所の運転状況

1 号機（定格電気出力：46万kW）

	運 転 状 況	時間稼働率(%)	設備利用率(%)
4月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
5月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
6月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
7月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
8月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
9月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
10月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
11月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
12月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
1月			
2月			
3月			

2 号機（定格電気出力：82万kW）

	運 転 状 況	時間稼働率(%)	設備利用率(%)
4月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
5月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
6月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
7月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
8月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
9月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
10月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
11月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
12月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
1月			
2月			
3月			

(注) 1.
$$\text{時間稼働率} = \frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$$

2.
$$\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可電気出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$$

用語の解説

(1) 「平常の変動幅」について

「平常の変動幅」については、「環境放射線モニタリングに関する指針」（原子力安全委員会）において「測定条件等が良く管理されており、かつ原子力施設が平常運転を続けている限り、測定値の変動はある幅の中に納まるはずであり、これを「平常の変動幅」と呼ぶことにする。」と規定されている。

本技術会は測定項目別の「平常の変動幅」を指針に準拠し下表のとおり定めた。

なお、測定値が「平常の変動幅」を外れた場合はその原因を調査している。

測定項目別「平常の変動幅」

調査項目	平常の変動幅	更新等
空間放射線の積算線量	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
モニタリングポストによる空間放射線量率	前年度までの5年間(新設や移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値 \pm 3 \times 標準偏差)相当の範囲とする。	年度毎に更新
地表面における人工放射能面密度	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
環境試料中の放射能	前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とする。 ただし、ガンマ線スペクトロメトリー対象核種については、H23年度以降、福島第一原子力発電所事故の影響があると思われるため、更新せず、平成22年度と同様とする。	年度毎に更新

(2) 「検出下限値」について

環境試料中の放射能の検出下限値は計数誤差の3倍とする。

本報告書では「検出下限値未満」を「ND」と表記する。

(3) 環境放射線調査関係

【あ】

R P L D (RadioPhotoLuminescence glass Dosimeter の略、蛍光ガラス線量計)

銀活性化リン酸塩ガラスなどの物質は、放射線を照射した後に紫外線レーザを照射すると、放射線量に比例して発光する性質を有する。このような性質を利用した線量計を R P L D という。

α線、β線、γ線

α線は、原子核から飛び出した陽子2個と中性子2個が組み合わさった粒子 (He (ヘリウム) の原子核) である。α線は物質を透過する力が弱く、皮膚の表面や薄い紙1枚程度で止める (遮蔽する) ことができるが、強い電離作用がある。

β線は、原子核から飛び出した高速の電子である。β線の物質を透過する力はα線の約100倍であり、皮膚の表面から数mmの深さまで到達する。薄いアルミニウム板などで止める (遮蔽する) ことができる。

γ線は電磁波であり、励起状態にある原子核が安定状態になる際に放出される。γ線の物質を透過する力はβ線より強く、身体の深部にまで到達する。鉛やコンクリートなどで止める (遮蔽する) ことができる。

インサイチュ

in-situ 測定

「現場での測定」を意味する。本報告書においては、可搬型ゲルマニウム半導体検出器を環境中に運搬し、現場においてγ線スペクトロメトリーを行うことを指す。

液体シンチレーション分析

環境試料中の放射性核種を測定するために、測定試料を液体発光物質 (液体シンチレータ) に溶かし、試料が出す放射線が発光物質に衝突して発する光を測定して、放射性核種の分析を行うことがある。これを液体シンチレーション分析という。

³H (トリチウム) は (γ線を放出せず) β線のみを放出する放射性核種であるため、γ線スペクトロメトリーではなく、液体シンチレーション分析を用いて放射能を測定している。

【か】

核種分析

ほとんどの放射性核種は固有のエネルギーを有するγ線等の放射線を放出しているため、物質から放出される放射線のエネルギーとその放出量を測定することによって、放射性核種がどれだけ含まれているかを知ることができる。このようにして、物質に含まれる放射性核種の種類及び放射能を分析することを核種分析という。

環境試料中の放射能

放射性核種の分布や変動の程度を把握するために、一般環境に存在するものを採取し、その放射能分析を行っている。現在のところ、このような環境試料としては、浮遊塵、植物 (松葉)、農畜産物、海産生物、陸水、海水、陸土、海底土等がある。

測定結果は試料によって、試料の単位体積あたりの放射能 (μ Bq / m³、m Bq / l)、単位面積あたりの放射能 (k Bq / m²) 又は単位質量あたりの放射能 (Bq / kg) で表している (μ (マイクロ) は100万分の1、m (ミリ) は千分の1、k (キロ) は千倍)。

γ線スペクトロメトリー（γ線分光分析）

γ線スペクトロメータを用いてγ線のエネルギースペクトルの測定を行い、得られたスペクトルを解析することによって、試料に含まれる放射性核種の種類及び放射能の分析を行うことをγ線スペクトロメトリー（γ線分光分析）という。

国際放射線防護委員会（ICRP）

1928年に設立された国際X線・ラジウム防護委員会を継承して設立された国際的な専門家の委員会であり、1950年から放射線防護に関する国際的な基準を勧告してきた。最初の勧告（Publication 1）は1958年に出されている。

この勧告は拘束力を持つものではないが、国際機関および各国の法律制定に大きな影響を与えている。世界の放射線防護はICRPの勧告に基づいて実施されており、日本の放射線防護に係る法令もICRPの勧告を国内で審議のうえ採用している。

【さ】

積算線量（空間放射線積算線量）

ある地点で一定期間にわたって測定された空間放射線量の積算量をいう。放射線量は物質に吸収されたエネルギーで表す。物質1kgあたり1J（ジュール）のエネルギー吸収をもたらす放射線量を1Gy（グレイ）とする。RPLD（蛍光ガラス線量計）による測定の場合、同一地点で約3ヶ月間測定した値を90日間の値に換算して、mGy（ミリグレイ）／90日で表している（ミリは千分の1）。

線量限度

放射線防護の目的のために設定された放射線被ばくの限度のことを指す。放射線が人体に及ぼす確定的影響を防止し、確率的影響を容認できるレベルに制限するために設定されている。

日本では、法令によって自然放射線と医療放射線を除いて、職業人に対して100mSv／5年かつ50mSv／年、一般公衆に対して1mSv／年と定めている。

線量率（空間放射線量率）

単位時間あたりの空間放射線量をいう。本報告書では、これを1時間あたりの空間放射線量であるnGy（ナノグレイ）／hで表している（ナノは10億分の1）。

【た】

TLD（Thermo Luminescence Dosimeter の略、熱ルミネセンス線量計）

CaSO₄（硫酸カルシウム）やLiF（フッ化リチウム）などの物質は、放射線を照射した後加熱すると発光する性質を有する。この性質を利用した線量計をTLDという。

島根県では、硫酸カルシウムにトリウムを添加したもの（CaSO₄:Tm）をTLD素子として使用している。

【は】

平常の変動幅

測定条件、気象状態や自然環境などによって変動する測定値について、その変動する原因を調査した方がよいかどうかのふり分けをする大まかなレベルのことをいう。

この範囲は、過去のデータを統計処理して求めたものであり、範囲をはずれた測定値については原因調査を行い、原子力発電所の影響の有無を確認する。

なお、この範囲は、人体に影響を生じるレベルよりはるかに低い値であり、人体への影響を評価するためのものではない。

放射化学分析

環境試料中の放射性核種を測定するために、適当な化学的方法により元素の分離・精製を行い、その中に含まれる放射性核種の種類あるいは放射エネルギーを求めることを放射化学分析という。

^{90}Sr （ストロンチウム90）は（ γ 線を放出せず） β 線を放出する放射性核種であるため、 γ 線スペクトロメトリーではなく、放射化学分析法を用いて核種分析を行っている。

放射性核種

放射能をもつ同位元素を放射性核種といい、放射性同位元素といってもよい。例えば天然に存在する原子番号19のカリウムは質量数39のK-39、質量数40のK-40、質量数41のK-41の3種類がある。このうちK-39とK-41は放射能をもたないので安定核種とよぶが、K-40は放射能をもつので放射性核種という。

放射線

空間を伝播、移動するエネルギーの流れで、このうち電離作用をもったものをいう。代表的なものに、 α （アルファ）線、 β （ベータ）線、 γ （ガンマ）線、X（エックス）線などがある。

放射能と混同して使われることがあるが、異なるものである。

放射能

原子核が不安定であるために壊変し、 α 線や β 線、または γ 線やX線等の放射線を放出する性質またはその壊変の起きやすさをいう。

放射能（の強さ）は単位時間における壊変数で表し、Bq（ベクレル）を単位とする。1秒間に1個の原子核が壊変する物質の放射能（の強さ）は1Bqであるという。

【ま】

面密度

陸土試料などについて、単位質量あたりの放射能を単位面積あたりの放射能に換算した値。単位はkBq/m²など。

モニタリングカー

空間放射線量率計などの測定装置を備えていて、空間放射線などを移動測定することのできる車をいう。

モニタリングポスト

空間放射線量率を自動連続測定する装置を備えた野外測定設備をいう。なお、空間放射線量率計に加えて気象観測装置なども備えている設備のことをモニタリングステーションと呼んでいる。

【や】

預託実効線量

人体組織に対する放射線の影響は、放射線の種類やエネルギーにより異なるため、これを共通の尺度で評価するために使う量を等価線量という。これは物質が単位質量あたりに吸収する放射線のエネルギー（単位：Gy）に換算係数（放射線の種類やエネルギーにより異なる）を乗じたものであり、単位はSv（シーベルト）である。

体内に取り込まれた放射性核種からの被ばく（内部被ばく）の場合、体外に排泄されるまで、または崩壊によって減衰するまで被ばくが続く。このことを考慮して求めた50年間（成人の場合）にわたる等価線量の積分値を預託等価線量という。

人体に対する放射線の影響は被ばくする組織によって異なっているため、組織ごとの影響を共通の尺度で評価する必要がある。この目的に使うため、各組織ごとの預託等価線量に荷重係数（ W_T ）を乗じて合計した量を預託実効線量としている。

（参考）

確率的影響、確定的影響

放射線の被ばくにより生じる影響で、影響の程度は線量に依存しないが、影響が発生する確率と線量との間にはしきい値（それ以下の線量では影響が現れないとされる値）のない比例関係が存在することを確率的影響という。例えば、被ばくした人の子孫に現れる遺伝的影響ならびに被ばくした人に現れる身体的影響のうちの発ガンがこれに当たる。

これに対して、その発生にしきい値線量があり、しきい値以下の線量では影響が現れず、影響の程度が線量に比例すると考えられるものを確定的影響という。例えば、放射線被ばくに起因する皮膚の障害、白内障、不妊などがこれに当たる。

本書は平成26年度放射線監視等交付金事業により作成しました。